

Windows 画面音声化ソフトウェア

PC-Talker Neo

new
AOK
system

操作マニュアル

目次

PC-Talker をインストールして、Windows を終了するまでの手順と、付属ソフトの説明をします。

インストール	2
PC-Talker のインストール方法を説明します。	
起動から終了まで	4
PC-Talker の起動方法と終了を説明します。	
PC-Talker のメニュー	5
PC-Talker のメニューについて説明します。	
AOKMenu	19
AOKMenuについて説明します。	
音声時計	22
音声時計について説明します。	
音声電卓	24
音声電卓について説明します。	
MySupport	25
当社からのお知らせの確認や、オンラインマニュアルを確認します。	
PC-Talker コマンド一覧	32
PC-Talker のコマンド一覧表です。	

※ 本書は、PC-Talker Neo、PC-Talker Neo Plus の共通のマニュアルです。

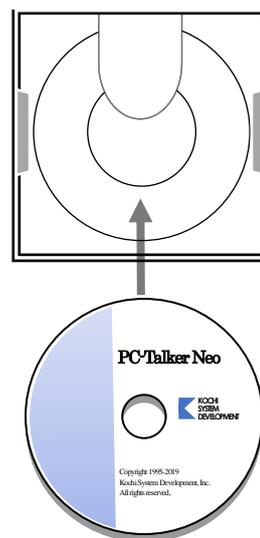
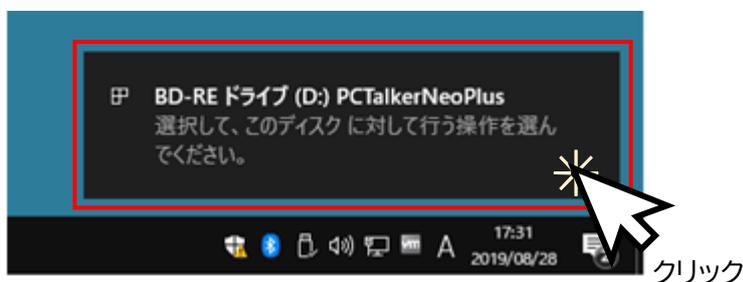
インストール

PC-Talker のインストール方法について説明します。

PC-Talker インストール

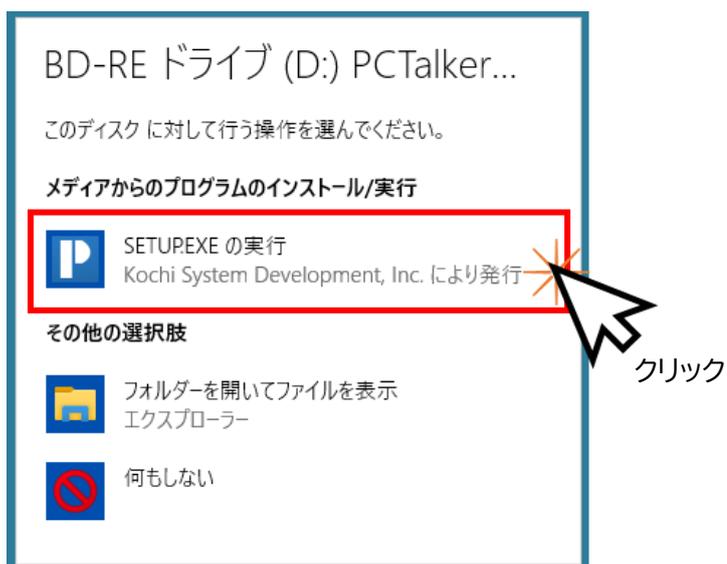
- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
- ② PC-Talker のインストールDVD-ROM をドライブに挿入します。
- ③ タスクバーの上に表示される 通知バーをクリックします。
キー操作では、**[Windows] + [Shift] + [V]** を押して、
通知バーにフォーカスを移動し、**[Enter]** を押します。

通知バー **※注意** : 5 秒で消えてしまいます。



※通知バーが消えてしまった時は、PC-Talker のインストールDVD-ROM をドライブに挿入し直してください。

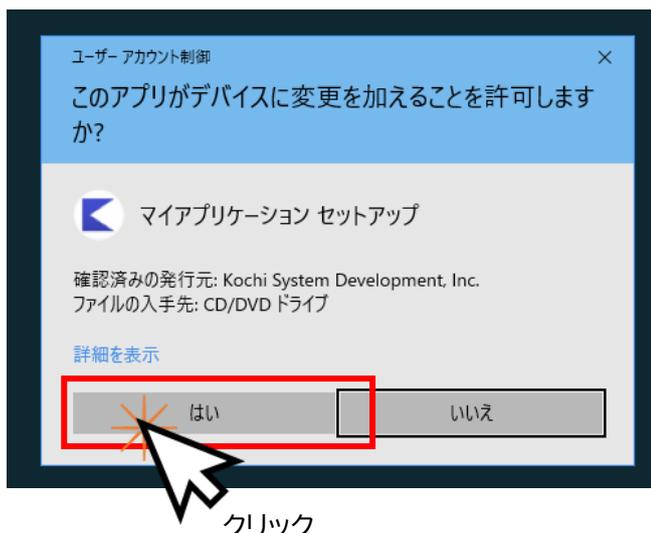
- ④ [SETUP.EXE の実行] をクリックします。
キー操作では、**[↑]** を押して、複数回押して [SETUP.EXE の実行] を選択し、**[Enter]** を押します。



⑤ 画面が暗くなり警告音が鳴り、ユーザーアカウント制御のダイアログが出ます。

[はい] をクリックします。

キー操作では、**[Alt] + [Y]**を押します。

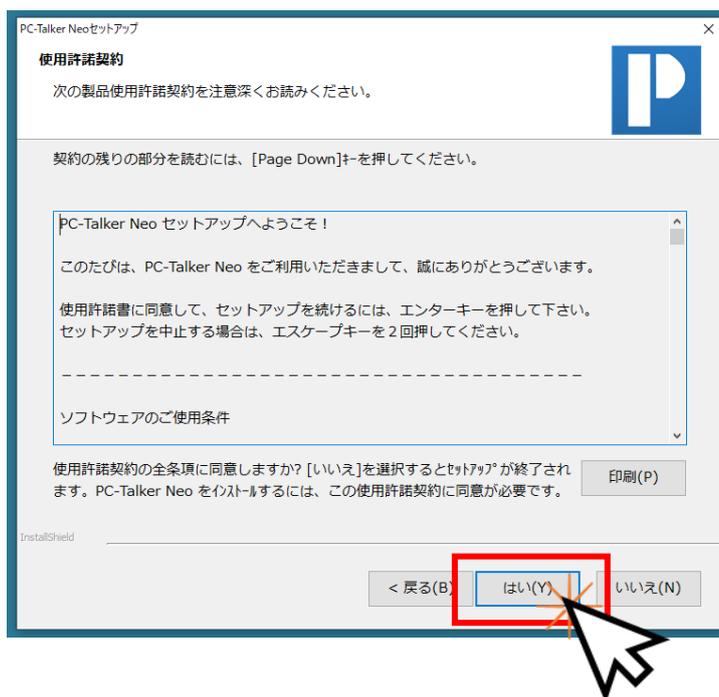


PC-Talker の最新セットアップファイルをダウンロードします。
ダウンロードが完了すると、インストールが始まります。

⑥ 使用許諾書が表示されます。内容に同意する場合は、[はい(Y)] をクリックします。

キー操作では、**[Enter]**を押します。

同意しない場合は、[いいえ(N)] をクリック
します。



インストールには数分かかります。
電源を切ったり、他のアプリケーションを起動したりしないでください。

⑦ インストールが完了すると、PC-Talker が自動的に起動します。

※ KTOS (点字入力) のご使用は、別途 MySupport のWeb 版インストールから KTOS のセットアップをお願いします。

起動から終了まで

PC-Talker および KTOS の起動方法と終了方法を説明します。

起動方法

パソコンの電源を入れて、Windows が起動すると、自動的に PC-Talker は起動します。
PC-Talker、KTOS の自動起動は、MySupport で設定できます。(■27 ページ参照)

特殊な起動方法

PC-Talker または KTOS を自動起動しないよう設定している場合に、手動で起動する方法

① ショートカットキーで、PC-Talker を起動します。

Ctrl + **Shift** + **F3**

② ショートカットキーで、KTOS を起動します。※1

Ctrl + **Alt** + **Shift** + **F6**

終了方法

Windows を終了すると、PC-Talker、KTOS も自動的に終了します。

特殊な終了方法

PC-Talker、KTOS を手動で終了する方法

① ショートカットキーで、KTOS を終了します。

Ctrl + **Alt** + **Shift** + **F7**

② ショートカットキーで、PC-Talker を終了します。

Ctrl + **Alt** + **F3**

※1 : KTOS を初めて起動したときは、点字ドライバー組み込みの案内を表示します。点字ドライバー組み込み後は、Windows を再起動してください。

PC-Talker のメニュー

PC-Talker のメニューについて説明します。

メニューを開く



フルキー

Ctrl + Alt + F12

点字キー

⠠⠠⠠ + SP

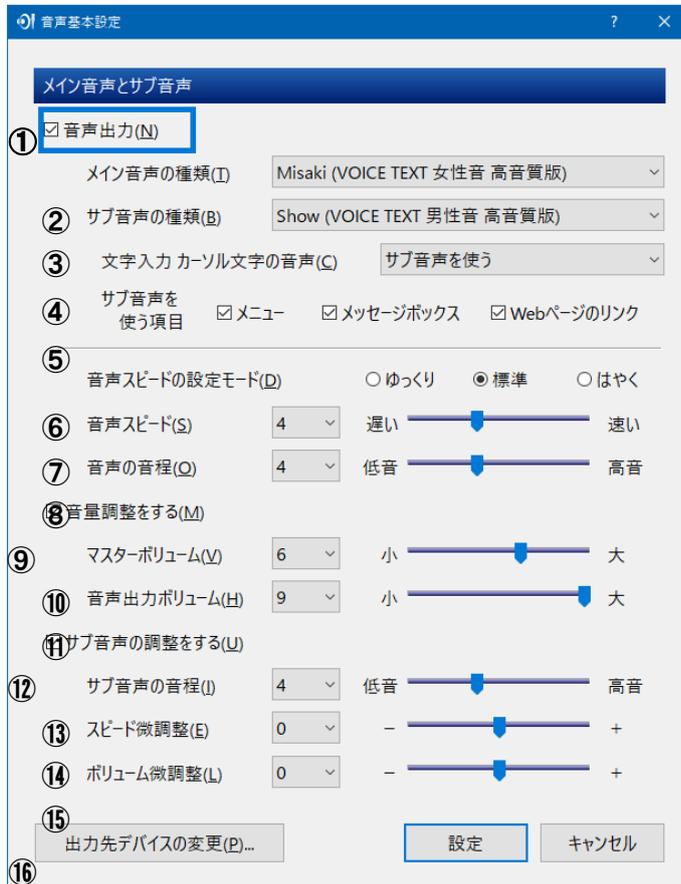
タッチ

4本指でシングルタップの長押し

AOKMenu

F12を押して、AOKMenuの[PC-Talkerの設定]を実行

音声基本設定



PC-Talker の読み上げ音声を自分好みの音声に設定することができます。

音声の聞き取り易さに合わせてカスタマイズしてください。

① 音声出力

チェックを外すと、PC-Talker の読み上げ音声を停止します。

② メイン音声の種類

メインに使用する音声の種類を選択します。

③ サブ音声の種類

サブ音声に使用する音声の種類を選択します。サブ音声は、文字入力やカーソル文字の読み上げ、その他 特定の読み上げに使用されますが、サブ音声を使わず、メイン音声のみ使う場合は、〈サブ音声を使用しない〉を選択します。

④ 文字入力 カーソル文字の音声

文字入力やカーソル移動時の読み上げに使用する音声を選択します。

〈メイン音声を使う〉〈サブ音声を使う〉は、音声の音程差で文字種を聞き分けます。

〈メイン音声とサブ音声を使う〉は、文字種によってメイン音声とサブ音声が変わります。

⑤ サブ音声を使う項目

サブ音声を使って読み上げる項目を チェックします。

⑥ 音声スピードの設定モード

〈ゆっくり〉〈標準〉は、スピード1からスピード9までが使用できます。〈標準〉を基準として、〈ゆっくり〉は、全体のスピード感が下がります。

〈はやく〉は、スピード10から15までの高速スピードを使用できます。

⑦ 音声スピード

9段階のスピードレベルから選択できます。数値が大きくなるほどスピードが速くなります。

⑧ 音声の音程

9段階の音程レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音程が高くなります。

音程を極端に低くしたり高くしたりすると、「カタカナ、ひらがな」など文字種を音程差で判別しにくくなります。

⑨ 音量調整をする

音量調整を手動にするか、自動であるかを設定します。

チェックをすると、パソコン本体内部にスピーカーがある機種でボリュームのつまみが無く、Windows 内のボリュームコントロールから音量調整を行う機種の時に有効に利用できます。

⑩ マスターボリューム

9段階の音量レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音量が大きくなります。

※ Windows 既定のサウンドデバイスの音量を変更しますので、メディアプレーヤなど他のソフトウェアの音量も増減します。

⑪ 音声出力ボリューム

9段階の音量レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音量が大きくなります。

※ PC-Talker が出力する音声の音量を変更しますので、他のソフトウェアの音量へは影響しません。

⑫ サブ音声の調整をする

メイン音声とサブ音声の音程、スピード、ボリュームの調整を行うか行わないか設定します。

⑬ サブ音声の音程

9段階の音程レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音程が高くなります。

⑭ スピード微調整

本来のスピードに対する微調整を -9 から +9 で変更できます。

マイナス値が増えると少しずつスピードが遅くなり、プラス値が増えると少しずつスピードが速くなります。

0 を選択した場合は微調整をしません。

⑮ ボリューム微調整

本来の音量に対する微調整を -9 から +9 で変更できます。

マイナス値が増えると少しずつ音量が小さくなり、プラス値が増えると少しずつ音量が大きくなります。

0 を選択した場合は微調整をしません。

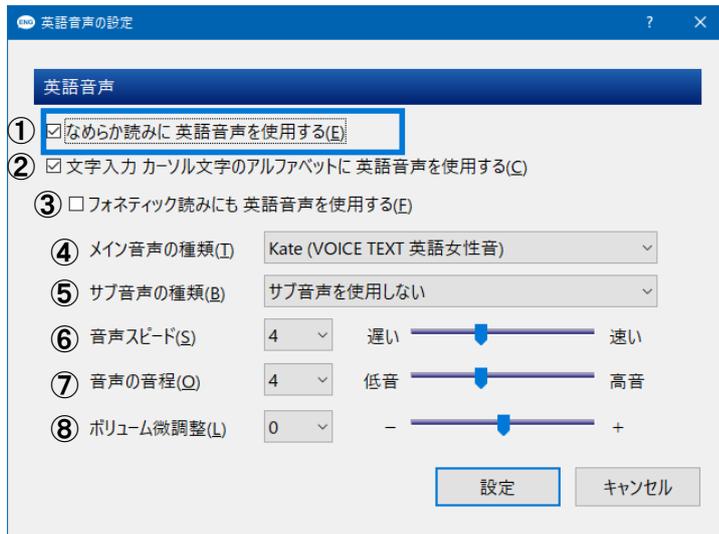
⑯ 出力先デバイスの変更

複数のスピーカーが接続されているパソコン環境において、PC-Talker の音声を別のスピーカーから出力させることができます。

英語音声の設定

PC-Talker は、英語音声エンジン「Kate(VOICE TEXT 英語女性音)」を標準搭載しています。

英語音声エンジンを使用することにより、英単語をネイティブに近い発音で読み上げることができるのはもちろんのこと、英文のアクセントや発音なども自然に読み上げます。



① なめらか読み に英語音声を使用する

なめらか読みで英語音声を使用する場合、チェックします。

② 文字入力 カーソル文字のアルファベットに英語音声を使用する

文字入力やカーソル移動時の読み に英語音声を使用する場合、チェックします。

③ フォネティック読みにも英語音声を使用する

アルファベットのフォネティック読み に英語音声を使用する場合、チェックします。

④ メイン音声の種類

英語を読み上げるメイン音声の種類を選択します。

⑤ サブ音声の種類

英語を読み上げるサブ音声の種類を選択します。

今のところ、サブ音声は【文字入力 カーソル文字のアルファベットに 英語音声を使用する】が有効な場合に、半角アルファベットを識別する音声に使用されます。

メイン音声のみを使う場合は、〈サブ音声を使用しない〉を選択します。

⑥ 音声スピード

9段階のスピードレベルから選択できます。数値が大きくなるほどスピードが速くなります。

⑦ 音声の音程

9段階の音程レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音程が高くなります。

⑧ ボリューム微調整

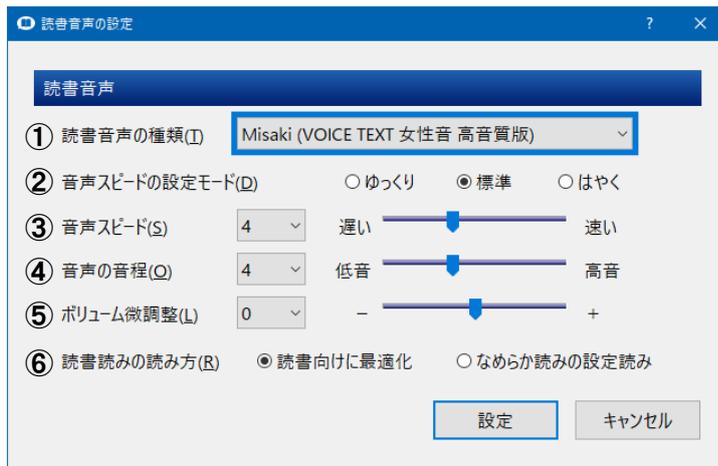
本来の音量に対する微調整を -9 から +9 で変更できます。

マイナス値が増えると少しずつ音量が小さくなり、プラス値が増えると少しずつ音量が大きくなります。

0 を選択した場合は微調整をしません。

読書音声の設定

メイン音声やサブ音声とは別の音声の種類、音声スピード、音程を設定しておくことができます。小説の読み上げなど、落ち着いた音程のある音声でゆっくりと聴きたい読書向けの設定です。



① 読書音声の種類

読書音声に使用する音声の種類を選択します。

② 音声スピードの設定モード

〈ゆっくり〉〈標準〉は、スピード1からスピード9までが使用できます。〈標準〉を基準として、〈ゆっくり〉は、全体のスピード感が下がります。

〈はやく〉は、スピード10から15までの高速スピードを使用できます。

③ 音声スピード

9段階のスピードレベルから選択できます。数値が大きくなるほどスピードが速くなります。

④ 音声の音程

9段階の音程レベルから選択できます。数値が大きくなるほど音程が高くなります。

⑤ ポリューム微調整

本来の音量に対する微調整を -9 から +9 で変更できます。

マイナス値が増えると少しずつ音量が小さくなり、プラス値が増えると少しずつ音量が大きくなります。

0 を選択した場合は微調整をしません。

⑥ 読書読みの読み方

読書音声で全文読み (**Ctrl** + **Alt** + **Win** + **F9**) を実行するときの読み方を選択できます。

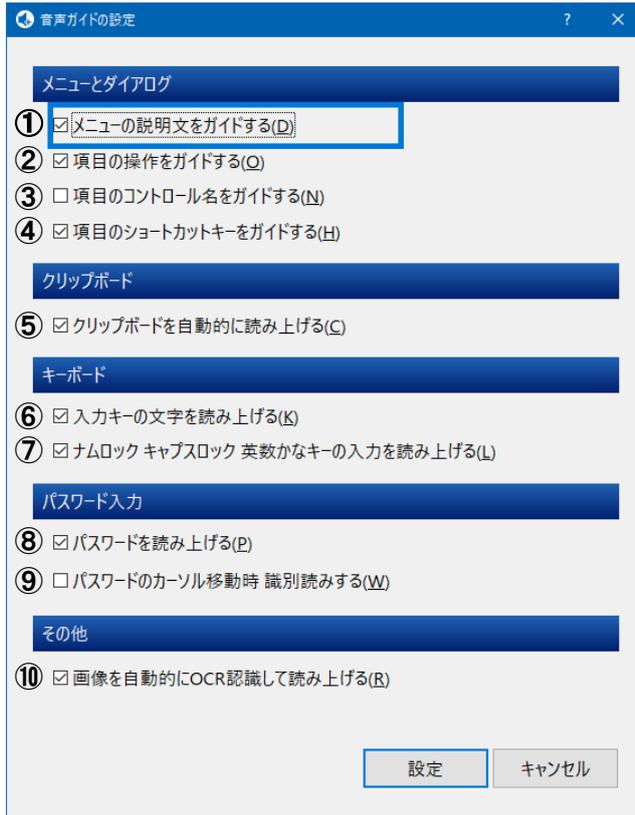
〈読書向けに最適化〉を選択した場合、

句点 括弧 記号は読まない / 数字は位取りして読む / 改行は息継ぎする / 英語読みで読むの読み方で読み上げます。

〈なめらか読みの設定読み〉を選択した場合、現在のなめらか読みの読み方に従い読み上げます。

音声ガイドの設定

各項目に、チェックをつけた場合の読み上げ動作について説明します。



① メニューの説明文をガイドする

メニューの選択時、項目の説明をガイドします。

※画面上に説明文を表示しないメニューはガイドできません。

※デスクトップ項目の説明もガイドします。

※エクスプローラーのファイル一覧選択時の項目の説明もガイドします。

② 項目の操作をガイドする

項目名の後に、項目の操作方法をガイドします。

エディットコントロールなら、『...の文字入力』

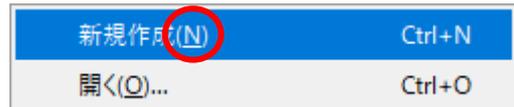
プッシュボタンなら『...の確認』

③ 項目のコントロール名をガイドする

項目名の後に、項目のコントロール名称をガイドします。

④ 項目のショートカットキーをガイドする

項目名にショートカットキーの記述があればガイドします。



⑤ クリップボードを自動的に読み上げる

クリップボードにコピーされたテキストを自動的に読み上げます。

⑥ 入力キーの文字を読み上げる

キーボードから押したキーによって入力された文字を読み上げます。

※日本語変換中の入力された文字は、この の状態に関係なく必ず読み上げます。

※PC-Talker の起動時は、チェックされています。

⑦ ナムロック キャプスロック 英数かなキーの入力を読み上げる

それぞれの入力状態を切り替えたとき、音声でガイドします。

⑧ パスワードを読み上げる

パスワード入力時の文字を読み上げます。

※パスワード入力欄は、画面上にその入力内容を ●または*に化かして表示しています。

パスワードを読み上げる場合、画面上の内容は●または*のままですが、音声では本当の文字を読み上げます。

パスワードを読み上げない場合、パスワードの入力中は、入力文字を『●』または『*』と読みます。

⑨ パスワードのカーソル移動時 識別読みする

パスワードの文字を識別読みで読み上げます。

パスワードは、視覚で誤入力の文字を見つけることはできません。音声では識別読みを利用して早く誤入力を発見することができます。

⑩ 画像を自動的に OCR 認識して読み上げる

テキスト情報を持たない画像やウィンドウにフォーカス移動したとき、自動的に画面のOCR認識を実行して、その認識結果を読み上げます。画像のOCR認識が自動実行される際には、『ピコッ』とサウンドが鳴って、そのあと認識結果を読み上げます。

なめらか読みの読み方

文章の全文読みや、段落読み、1行読みといった、なめらか読みの読み方を設定できます。



① 句点を読む

対象は、句点(。)読点(、)なか点(・)コンマ(,)ピリオド(.)です。

チェックを外すと、対象文字は読み上げません。

② 括弧を読む

対象は、『』[]「」など、括弧の記号です。

チェックを外すと、対象文字は読み上げません。

③ 記号を読む

対象は、○■♪÷などの記号です。

チェックを外すと、対象文字は読み上げません。

④ 数字を位取りして読む

チェックを外すと、123は『イチ ニ サン』と読み上げ、位取り読みしません。

⑤ 改行の読み方

〈読む〉は、改行位置を『改行』と読み上げます。

〈読まない〉は、改行位置をスキップして読み上げます。

〈息継ぎ〉は、改行位置でひと呼吸置いてから続きを読み上げます。

⑥ 英語の読み方

〈英語読みしない〉は、英単語を1文字1文字ずつ読みます。スペルチェックに有効です。

〈英語読みする〉は、英語の発音で読みます。

〈英語音声で読み上げる〉は、英語音声で読みます。(※注1を参照)

〈翻訳して読み上げる〉は、英語を日本語に翻訳して読みます。(※注2を参照)

※注1：〈英語音声で読み上げる〉は、英語音声の設定で【なめらか読みに英語音声を使用する】がチェックされている場合に選択できます。

※注2：〈翻訳して読み上げる〉は、「IBM 翻訳の王様」がインストールされている環境で選択できます。現在、IBM 翻訳の王様は販売されていません。

カーソル文字の読み方

カーソル文字の読み方

読み方(R)

① 音読み 音訓読み 簡易読み 詳細音訓 詳細区分
 識別読み ビープ

② 簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する(A)

③ フォネティック読みする(I)

カーソル操作

④ 上下カーソル移動時 1行読みする(L)

点字符号読みコマンド 点字の種類(B)

⑤ 六点漢字 漢点字 両方

設定 キャンセル

① 読み方

文章をカーソル移動しながら文字確認するときの読み方を選択します。

それぞれの読み方の違いは、あとで解説しますが、〈簡易読み〉〈詳細音訓〉以外の読み方は、多くの人にとって実用的でないかもしれません。初心者の方が、読み方の切替ショートカットキーを押して、知らずに〈音読み〉や〈ビープ〉になるケースを防止するため、次の項目で読み方の種類を〈簡易読み〉〈詳細音訓〉だけに限定することができます。

② 簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する

すべての種類の読み方が選択できるようにする場合、チェックします。

③ フォネティック読みする

フォネティック読みとは、ひらがな、カタカナやアルファベットの単音を確実に識別する読み方で、無線の交信などに使われている読みです。

フォネティック読みをする場合、チェックします。

④ 上下カーソル移動時 1行読みする

、で行移動したときの読み上げ方です。

移動先のカーソル位置から行末までを読み上げる場合、チェックします。

⑤ 点字符号読みコマンド 点字の種類

点字符号読み（++）で、読み上げる点字の種類を選択します。

〈六点漢字〉は、六点漢字符号を読み上げます。

〈漢点字〉は、漢点字符号を読み上げます。

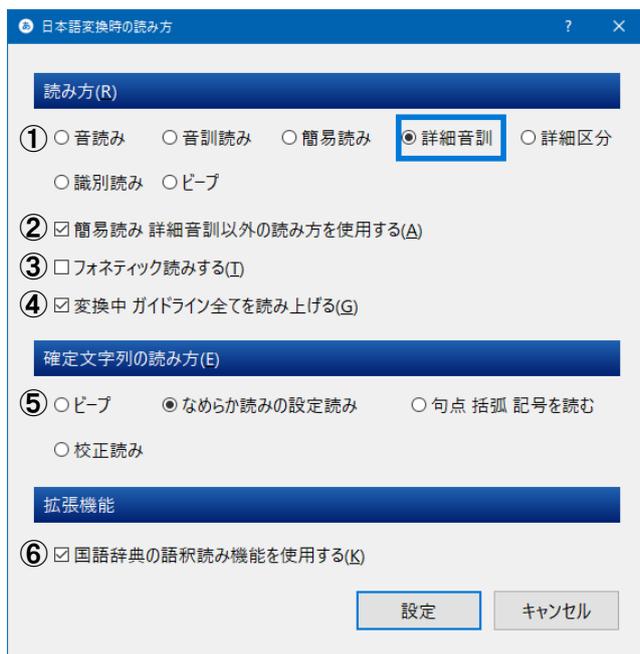
〈両方〉は、六点漢字と漢点字の符号を連続して読み上げます。

設定項目【読み方】について、それぞれの読み方の違いを説明します。

音読み	六点漢字符号の音読み部を読み上げます。 高 『コウ』
音訓読み	六点漢字符号の音読み部と訓読み部を読み上げます。 高 『コウ タ』
簡易読み	漢字の用例などで簡潔に表現して読み上げます。 高 『高いの コウ』
詳細音訓	漢字の音読みや訓読みの用例、または漢字の旁を用いて読み上げます。簡易読みよりも表現が詳細です。 高 『最高の コウ 高い』
詳細区分	詳細音訓のあとに、以下の漢字区分を併せて読み上げます。 常用漢字は、漢字区分を付けずに読み上げます。 『第一』 常用漢字以外の第一水準漢字 『第二』 常用漢字・人名漢字以外の第二水準漢字 『第三』 人名漢字以外の第三水準漢字 『第四』 人名漢字以外の第四水準漢字 『人名』 人名漢字 『区分なし』 第一から第四までの漢字水準に該当しない漢字 鶯 『小鳥の ウグイス 第二』

識別読み	<p>同音の文字を識別する読み方です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字の大きさは、『全角』『半角』 2. 文字の種類は 『ひらがな』『カタカナ』 『アルファベット 大文字』『アルファベット 小文字』 『数字』『漢数字』 『記号』 3. 漢字は、詳細区分で読みます。漢字以外は【フォネティック読みする】に従い読みます。 A 『半角アルファベット 大文字 A』
ビーブ	ピッと音が鳴ります。

日本語変換時の読み方



① 読み方

変換中の文字の読み方を選択します。それぞれの文字の読み方は、カーソル文字の読み方と同じです。

② 簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する

すべての種類の読み方が選択できるようにする場合、チェックします。

③ フォネティック読みする

フォネティック読みとは、ひらがな、カタカナやアルファベットの単音を確実に識別する読み方で、無線の交信などに使われている読みです。フォネティック読みをする場合、チェックします。

④ 変換中 ガイドライン全てを読み上げる

注目文節とその他の未確定文節もすべて読み上げる場合、チェックします。
チェックしない場合、注目文節のみ読み上げます。

⑤ 確定文字列の読み方

などで、変換を確定したとき、その確定文字列の読み方を選択します。

〈ビーブ〉は、ピッと音が鳴り、確定文字列は読み上げません。

〈なめらか読みの設定読み〉は、「なめらか読みの読み方」の設定に従います。

〈句点 括弧 記号を読む〉は、確定文字列内の句点や括弧、記号を必ず読み上げます。

〈校正読み〉は、確定文字列を校正読みで読み上げます。

⑥ 国語辞典の語釈読み機能を使用する

変換中に、注目文節の言葉、熟語の意味（語釈）を読み上げるコマンド機能です。国語辞典検索を使い、語釈読みを実行できるようにする場合、チェックします。
変換中に、国語辞典検索で語釈読みを実行するコマンド

(1) 注目文節を先頭一致で国語辞典検索 + +

(2) 注目文節と完全一致で国語辞典検索 + +

点字ディスプレイの設定

PC-Talker が標準搭載する点字ディスプレイ表示機能の設定について説明します。



① 点字ディスプレイを使用する

点字ディスプレイを使用し、PC-Talker の読み上げ音声の内容を表示する場合、チェックします。

② 表示する点字

表示する点字の種類を選択します。

〈エクストラ 点訳データ〉〈IBUKI TEN 点訳データ〉は、漢字交じり文をかな点字へ変換する点訳ソフトです。この点訳ソフトがパソコンにインストールされていないときは使用できません。

③ 点訳方式の設定

〈エクストラ 点訳データ〉を使用する場合に有効な項目です。

実行すると、エクストラ側の点訳方式（英語1級点字や英語2級点字など）を変更することができます。

④ カーソル文字 日本語変換の表示内容

この項目は、【表示する点字】で〈六点漢字〉または〈漢点字〉を選択したときに有効です。

カーソル移動時の文字や、変換中のガイドラインの表示内容を選択します。

〈音声の読み〉は、PC-Talker が音声ガイドする詳細読みの内容を表示します。

〈漢字〉は、ガイドラインを、そのまま六点漢字または漢点字で表示します。

⑤ 機器名

パソコンに接続されている点字ディスプレイ機器の名前を選択します。

※点字ディスプレイ機器をお持ちでないかたは[接続しない]を選択しておいてください。

⑥ 通信ポート

パソコンと点字ディスプレイ機器の通信に使用するポート番号を選択します。

⑦ 通信速度

パソコンと点字ディスプレイ機器の通信速度を選択します。

⑧ マス数を自動的に設定する

点字ディスプレイ機器の最大表示マス数を自動的に設定する場合、チェックします。

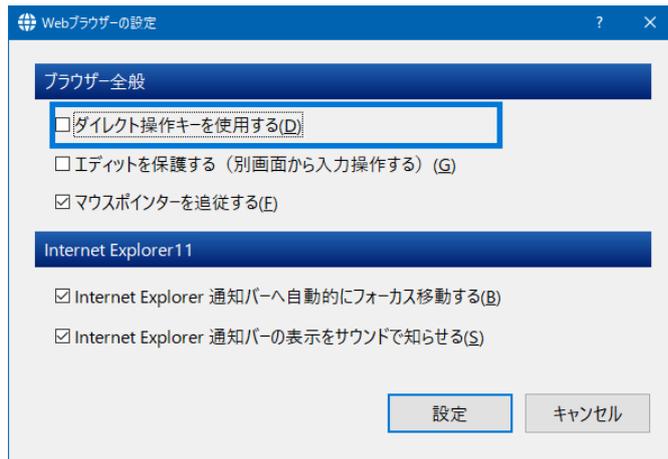
チェックしない場合、次の項目でマス数を設定します。

⑨ 表示マス数

点字ディスプレイへの表示マス数を入力します。（※16 マス以上）

Webブラウザの設定

各項目に、チェックをつけた場合の読み上げ動作について説明します。



① ダイレクト操作キーを使用する

Web ページの読み上げ（仮想カーソル移動など）は、**Ctrl**を一緒に押すコマンド入力方式ですが、**Ctrl**を押さずにダイレクトにコマンドを実行できるようにします。

※ダイレクト操作キーと重複する、ブラウザ側の操作キーは機能しません。この場合、逆に、**Ctrl**を一緒に押して入力すると、ブラウザ本来の操作ができます。

② エディットを保護する(別画面から入力操作する)

Web ページ内のエディットボックスを保護して直接入力できないようにします。

保護が有効な状態の「保護モード」では必ず **Enter**（または、**F2**）を押し、編集用の別ウィンドウを開いてから現在のエディットボックスの内容を編集してください。

編集用の別ウィンドウで内容を入力後、**Enter**を押して編集を終わります。編集を途中で中止するときは、**Escape**を押します。

③ マウスを追従する

Web ページ内のリンク項目や、ボタン、エディットボックスなどマウスクリックの動作が有効な項目へカーソル移動したとき、その項目上にマウスポインタを移動させます。

④ Internet Explorer 通知バーへ自動的にフォーカス移動する

通知バーが表示されると、自動的に通知バーの操作へとフォーカス移動します。

⑤ Internet Explorer 通知バーの表示をサウンドで知らせる

通知バーが表示されたときに効果音を鳴らします。

Internet Explorer の通知バーは、リンク実行によるダウンロード確認や、パスワードの保存確認、その他のステータス情報を表示します。

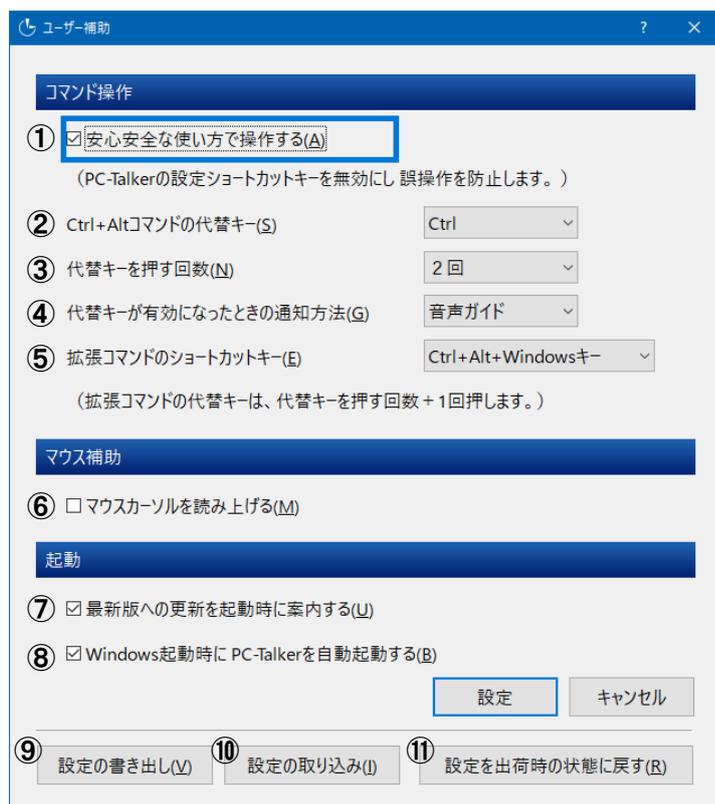


この通知バーは、閲覧の邪魔にならないよう画面の下側に表示され、閲覧中に突然、応答を要求するダイアログボックスの煩わしさを軽減する視覚的效果はありますが、音声で操作する上で次の問題があります。

- (1) 通知バーが表示されたとき、自動的に通知バーへフォーカスが移らず、効果音も鳴らないので表示されたことが分かりません。
- (2) 通知バーがユーザーの応答を待っているとき、通知バーへフォーカス移動するには、**Alt+N**を実行するか、**Tab**を何回も押してフォーカス移動するしかありません。ただし、これも通知バーが表示されたことを分かっていないとできません。

この問題を解消するための設定が ④ ⑤ の項目です。

ユーザー補助



① 安心安全な使い方で操作する

PC-Talker 設定コマンドの実行ショートカットキーを無効にする場合、チェックします。

初心者にとって、いつも聴いている読み上げ方が知らずに変わってしまうと困ります。元の読み上げ方に戻す方法が分からないと、さらに困る状況です。

この項目は、PC-Talker のコマンドの中で、音声スピードや音量、カーソル文字の読み方、なめらか読みの読み方などの設定値を変更するコマンドを無効にして、誤操作を防止します。

初心者が安心して安全に操作ができるよう、出荷時は、設定コマンドが無効になっています。無効のときは、設定コマンドのショートカットキーが押されると、次の音声ガイドで実行できないことをお知らせします。『設定コマンドを有効にするには PC-Talker 設定のユーザー補助から 安心安全な使い方を解除します』

② Ctrl+Alt コマンドの代替キー

PC-Talker コマンドの **Ctrl** + **Alt** の代替キーを選択します。

※代替キーによるコマンド入力方法

【代替キー】に〈Ctrl〉、次の【押す回数】に〈2回〉で設定している場合、

Ctrl + **Alt** + **P** を代替キーで実行するには、**Ctrl** を 2 回押した後、**P** のキーを押します。

③ 代替キーを押す回数

代替キーを連続で押す回数を選択します。

④ 代替キーが有効になったときの通知方法

代替キーを押してコマンド入力が有効になったことを知らせる通知音を選択します。

〈音声ガイド〉は、『コントロール オルト』と音声ガイドがあります。

〈ビープ音〉は、『ピッピッ』と音が鳴ります。

⑤ 拡張コマンドのショートカットキー

PC-Talker コマンドには、**Ctrl** + **Alt** + **Windows** を使用する拡張コマンドがあります。ただし、**Windows** のキーがない日本語キーボードをお使いの場合、**Ctrl** + **無変換** のキーで拡張コマンドが入力できるようになっています。

お使いのキーボードに合わせ、拡張コマンドのショートカットキーを選択します。

※代替キーによる拡張コマンド入力方法

【代替キー】に〈Ctrl〉、次の【押す回数】に〈2回〉で設定している場合、

拡張コマンド **Ctrl** + **Alt** + **Windows** + **K** を代替キーで実行するには、**Ctrl** を 2 回押した後、もう 1 回 **Ctrl** を押します。

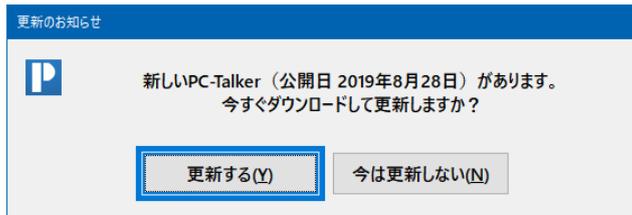
音声ガイドでは『プラス 拡張』、ビープ音なら低音の『ピッ』と鳴って、有効になったことを知らせます。このあと、**K** のキーを押します。

⑥ マウスカーソルを読み上げる

マウス操作中、マウスカーソルのあつた項目を音声ガイドする場合、チェックします。

⑦ 最新版への更新を起動時に案内する

チェックのとき、PC-Talker の起動時に最新版への更新案内を表示します。



「更新する」を選択した場合、アップデートプログラムをダウンロードして実行します。

⑧ Windows 起動時に PC-Talker を自動起動する

Windows の起動時に、自動的に PC-Talker を起動する場合、チェックします。

⑨ 設定の書き出し

PC-Talker の現在の設定値をファイルに書き出して保存することができます。

実行すると、ファイル名の入力画面が開きます。保存するファイル名を入力し、で確定します。

保存したファイルは【設定の取り込み】を実行して、設定値を復元することができます。

⑩ 設定の取り込み

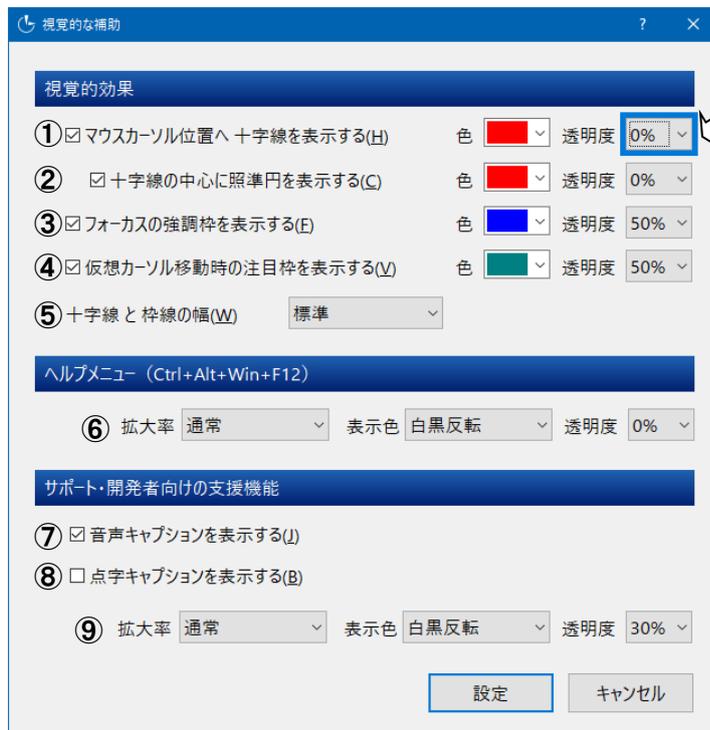
実行すると、ファイル名の入力画面が開きます。【設定の書き出し】で保存しておいたファイル名を入力し、

で確定します。ファイルに保存されている設定値に復元します。

⑪ 設定値を出荷時の状態に戻す

実行すると、PC-Talker を初めてインストールした直後の設定状態に戻します。

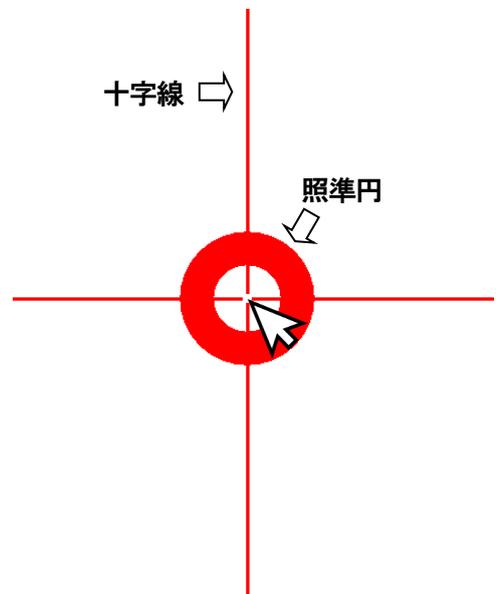
視覚的な補助



フォーカス強調枠

十字線

照準円



① マウスカーソル位置へ 十字線を表示する

マウスカーソル位置で交差する十字線を表示する場合、チェックします。

チェックすると、十字線の【色】【透明度】が選択できます。

※透明度は、0%から 90%の中から選択します。透明度が大きくなるほど十字線の色は薄くなりますが、その下の画面が鮮明に見えます。(他の項目の透明度も同じです)

② 十字線の中心に照準円を表示する

十字線の交差する位置を更に目立つように、円を表示する場合、チェックします。

チェックすると、照準円の【色】【透明度】が選択できます。

③ フォーカスの強調枠を表示する

フォーカスのあるウィンドウやコントロールを囲む強調枠を表示する場合、チェックします。

チェックすると、強調枠の【色】【透明度】が選択できます。

④ 仮想カーソル移動時の注目枠を表示する

仮想カーソル位置の文節や段落を囲む注目枠を表示する場合、チェックします。

チェックすると、注目枠の【色】【透明度】が選択できます。

※Web ブラウザーで閲覧する Web ページや、Adobe Reader で開いた PDF 文書は、仮想カーソルを使って読み上げ確認します。

このとき、どの辺りを読み上げているのか注目できるように仮想カーソルのある文節や段落を枠で囲んで表示します。

⑤ 十字線と枠線の幅

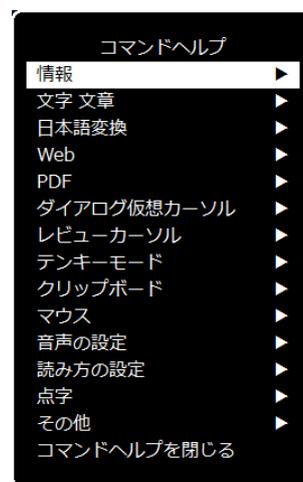
十字線および、強調枠、注目枠の線の太さを選択します。

⑥ ヘルプメニュー

ヘルプメニューは、 + + + で実行するコマンドヘルプのことで

このメニューの表示形式を【拡大率】【表示色】【透明度】で選択します。

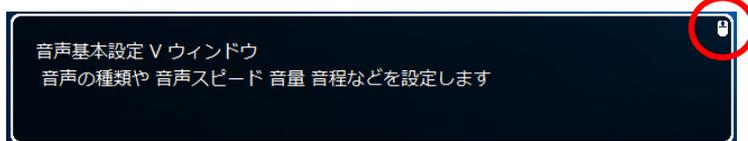
コマンドヘルプは、PC-Talker のコマンドを目的によって分類したサブメニュー項目の一覧です。次にサブメニューを開くと、コマンド名とショートカットキーの一覧が表示されます。コマンド名を選択し、現在のフォーカスがあるアプリケーションに対して、実際にそのショートカットキーを実行することができます。



⑦ 音声キャプションを表示する

音声キャプションには、映画の字幕表示のように、PC-Talker の読み上げ内容がリアルタイム表示されます。

音声キャプションを表示する場合、チェックします。



Web クリエーターなど開発者が自身の Web ページや開発アプリのアクセシビリティ検証を目的とした支援機能です。

⑧ 点字キャプションを表示する

点字キャプションには、点字ディスプレイに表示中の点字と原文テキストがリアルタイム表示されます。

音声キャプションを表示する場合、チェックします。



点字ディスプレイ利用者をサポートする 晴眼者が、どのような内容が点字表示されているか確認しながらのサポートに役立つ機能です。

⑨ 音声キャプションと点字キャプションの表示形式を【拡大率】【表示色】【透明度】で選択します。

※音声キャプション、点字キャプションのウィンドウサイズ、位置を変更する。

キャプションは、常に最前面に表示されていますが、キー入力やマウス操作を受け付けないため、その下に重なり合うウィンドウのボタンなどをマウスクリックできます。キャプションのウィンドウサイズを変更したり、ウィンドウの位置を移動したりするには、キャプションの右上隅にある  マウスアイコンをクリックします。一時的にキャプションをマウス操作できるようになるので、通常のウィンドウ操作と同じように、マウスドラッグでサイズ変更したり、位置を移動できます。もう一度、マウスアイコンをクリックするとマウス操作はアプリ側に戻ります。

ヘルプ

[ヘルプ] のメニュー項目では、**Enter** または、**→** を押して、サブメニューを表示します。



① マニュアル

PC-Talker のマニュアルを開きます。

本マニュアルは、MySupport を起動して読むこともできます。

② バージョン情報

PC-Talker のバージョン番号や、本製品の使用者名を表示します。

③ MySupport を起動

MySupport を起動します。

④ PC-Talker を最新版に更新

最新バージョンの PC-Talker へ更新する機能です。

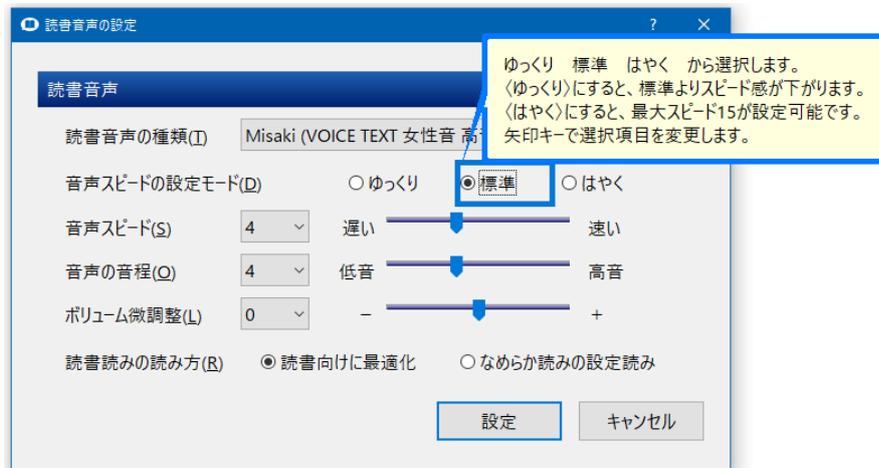
実行すると、インターネットに接続して、PC-Talker の最新があるかをチェックします。最新が見つかった場合、更新の案内がありますので、続けてバージョンアップを行うことができます。

設定画面で項目の説明を聴きたいときは **F1** を押す

ここまでご説明した PC-Talker の設定画面を操作中の便利機能です。

現在選択している項目のところで、**F1** を押すと、その項目についての説明文を聴くことができます。

マニュアルほど詳細で長い説明ではありませんが、簡単に項目の意味を知ることができる便利な機能です。



※設定画面を開くときのヒント音声をやめる

設定画面を開くと、『ヒント ファンクション1を押すと その項目を説明します』と、はじめに音声の読み上げがあります。

このヒント音声は、毎回開くたびにではありませんが、数回に1度は、**F1** の機能を紹介するために読み上げます。

このヒント音声を読み上げなくてもいい場合、設定画面で、次の操作を実行してください。

1. **Alt** を押します。
2. **↓** を押すと、システムメニューが開きます。
3. [ヒントの音声ガイドをやめる] を選択し、**Enter** を押します。

以上で、次回からヒント音声を読み上げなくなります。ヒント音声を再開するときも同じ操作を実行してください。

AOKMenu

AOKMenuについて説明します。

AOKMenuは、当社製品（MYWORD7等）を、簡単に起動するためのメニューです。

この、メニューから Windowsを終了 することもできます。

起動方法

AOKMenuの起動はショートカットキーでおこないます。

初期値は、**[F12]** で起動します。

AOKMenu



[↓] **[↑]** で、アプリケーションを選択し、**[Enter]** で実行します。

[Tab] で、現在使用しているアプリケーションの切り替え、メニューになります。

トップメニュー



トップメニューを選択します。**[Alt]** で表示します。

[↓] **[↑]** キーで選択し、**[Enter]** で実行します。

移動(M)

AOKMenu の表示位置をカーソルキーで移動します。

サイズ変更(S)

AOKMenu の表示サイズを変更します。

最小化(N)

AOKMenu を、最小化します。

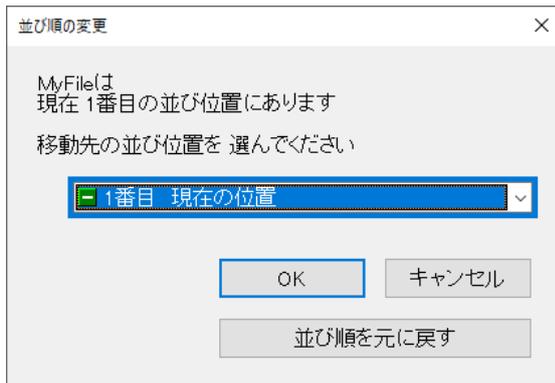
最大化(X)

AOKMenu を、画面全体に表示します。

閉じる(C)

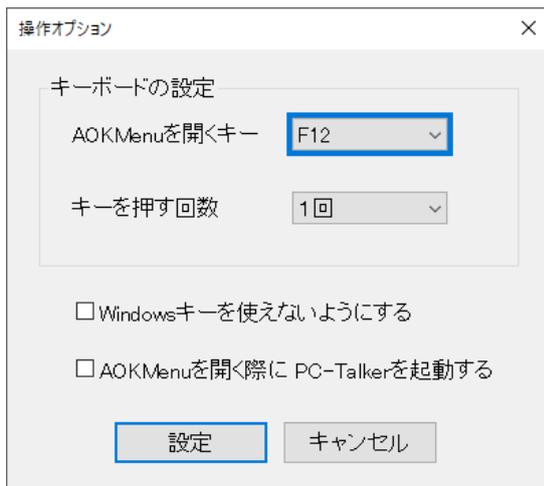
AOKMenu のウィンドウを閉じます。

並び順の変更 F2



AOKMenu の、項目の並び替えを行います。

操作オプション F3



キーボードの設定

AOKMenu を開く、キーを設定します。

初期値は、**F12** を 1 回押すと開きます。

設定可能なキーは、

F12

Print Screen

Scroll Lock

Pause

Ctrl

Shift

キーを押す回数は、1 回から 3 回の間で設定

Windows キーを使用しない

キーボードの Windows キーを使用しないように設定します。

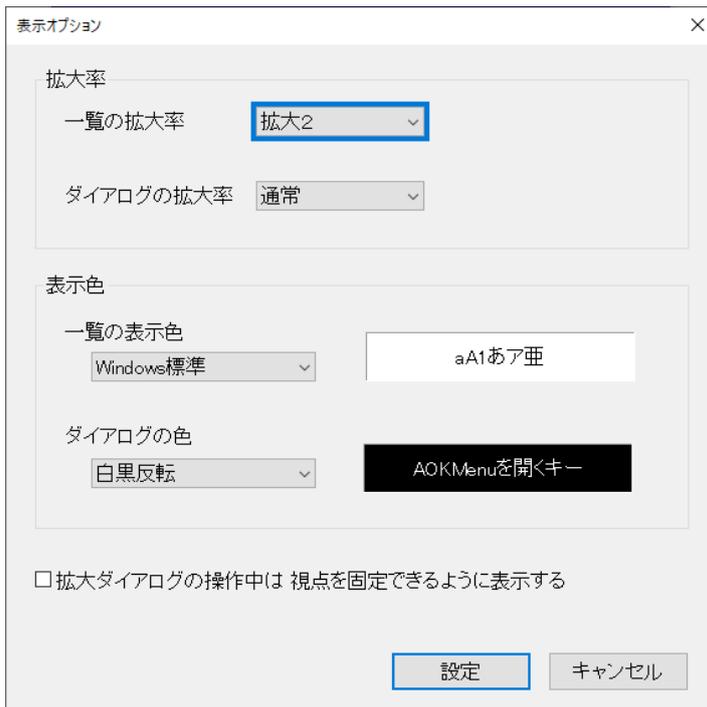
キーを押して Windows のスタートメニューを出さないようにする設定です。

この設定を行うと誤って Windows キーに触れてもスタートメニューが表示されることがありません。

AOKMenu を、開く際に PC-Talker を起動する

AOKMenu のウィンドウを開く時に、PC-Talker を同時に起動する機能です。

表示オプション F4



一覧の拡大率

AOKMenu の拡大率を通常、拡大 1 から拡大 7 までで設定します。

F6 で、拡大できます。

ダイアログの拡大率

設定ダイアログの拡大率を通常、拡大 1、拡大 2 で設定します。

一覧の表示色

一覧の表示色の設定を、行います。

ダイアログの色

ダイアログの表示色を、設定します。

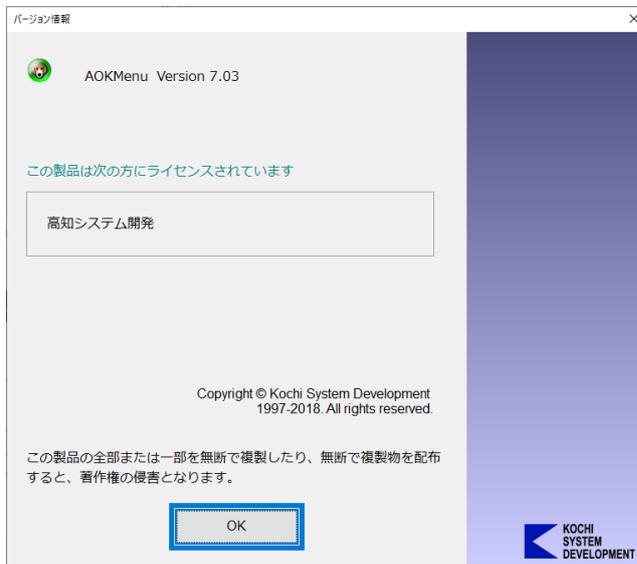
拡大ダイアログの操作中は、始点を固定できるように表示する

チェックを付けると有効になります。

マニュアル F1

AOKMenu のマニュアルを開きます。

バージョン情報(A)



AOKMenu のバージョン情報を読み上げます。読み上げ後、**Enter** で AOKMenu に戻ります。

AOK メニューの終了(X)

AOKMenu を終了します。

音声時計

音声時計は、PC-Talker が動作していることを前提とします。

PC-Talker が動作していないと、時刻の読み上げなどの機能は使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声時計は起動します。

Alt + **F4** で終了します。



時刻の読み上げ

F2 で、現在の時刻を読み上げます。

読み上げる時刻はボタンを押された瞬間の時刻です。

読み上げ例 『午後 10 時 10 分 10 秒』

日付の読み上げ

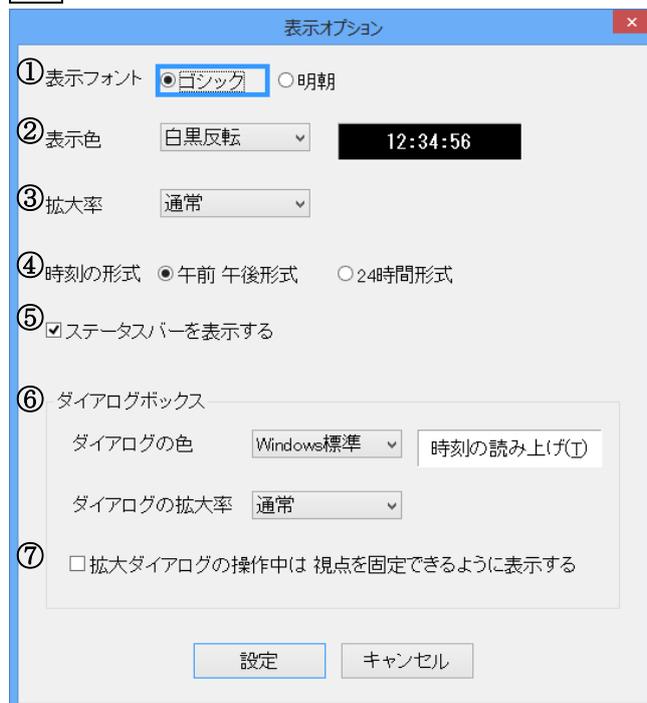
F3 で、現在の日付を読み上げます。

読み上げる日付はボタンを押された瞬間の日付です。

読み上げ例 『2019年3月12日 火曜日』

表示設定

F4 で、音声時計の表示設定を行います。



① 表示フォント

ゴシックか明朝に設定します。

② 表示色

表示色を設定します。

③ 拡大率

標準、拡大1～拡大7で設定します。

④ 時刻の形式

読み上げ形式午前午後形式か24時間形式かを設定します。

⑤ ステータスバーを表示する

ステータスバーの表示を設定します。

⑥ ダイアログボックス

ダイアログボックスの色と拡大率を設定します。

⑦ 拡大ダイアログの操作中は、始点を固定できるように表示する

チェックを付けると有効になります。

日時の変更

F5で、時刻と日付を変更することができます。

音声時計は、Windows がシステム内部に持っている時計を参照するため、この設定が本来の日時とずれていると音声時計でも正確な日時を読み上げることができません。

日時の変更

2019 年 2 月 12 日

12 時 00 分

設定 キャンセル

アラームの設定

F6で、アラームを設定できます。

アラームの設定

① 予定時刻1 15 時 6 分

予定時刻2 15 時 6 分

予定時刻3 15 時 6 分

② サウンド

予定時刻に時刻を読み上げる

予定時刻に音を鳴らす

サウンドファイル名 参照

設定 キャンセル

① 予定時刻

アラームの予定時刻を設定します。予定時刻は、3つまで設定できます。

② サウンド

予定時刻に時刻を読み上げるか、音を鳴らすかを、設定します。

音を鳴らす場合は、サウンドファイル^{*1}を指定します。

アラームの確認

F7キーで設定したアラームの時刻を確認します。

時報の設定

F8で、時報を設定できます。

時報の設定

サウンド

時刻を読み上げる

指定されたサウンドを鳴らす

時報は鳴らさない

時報のタイミング

3時間ごと

サウンドファイル名 参照

設定 キャンセル

※日時の変更は、年は西暦4桁（1980年から2099年まで）で、時は、24時間形式で入力してください。

※音声時計は2019年2月12日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

※1：サウンドファイル 拡張子がWAVファイルです。（例：Windowsを起動したときの音など）

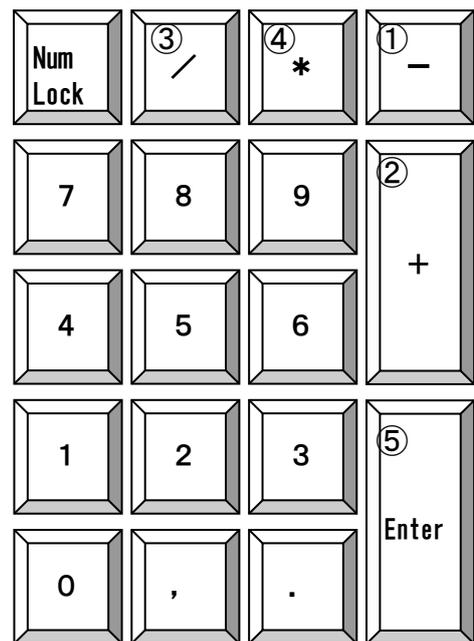
音声電卓

音声電卓は、PC-Talker が動作していることを前提とします。
PC-Talker が動作していないと、使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声電卓は起動します。
テンキーを利用して電卓と同じように使用できます。



キーボード



- ① 「-」 マイナス
- ② 「+」 プラス
- ③ 「/」 割る
- ④ 「*」 掛ける
- ⑤ 「=」 イコール
- ⑥フルキー「C」クリアー（電卓リセット）
- ⑦フルキー「E」キャンセル（直前の数値クリアー）
- ⑧フルキー「R」読み上げ

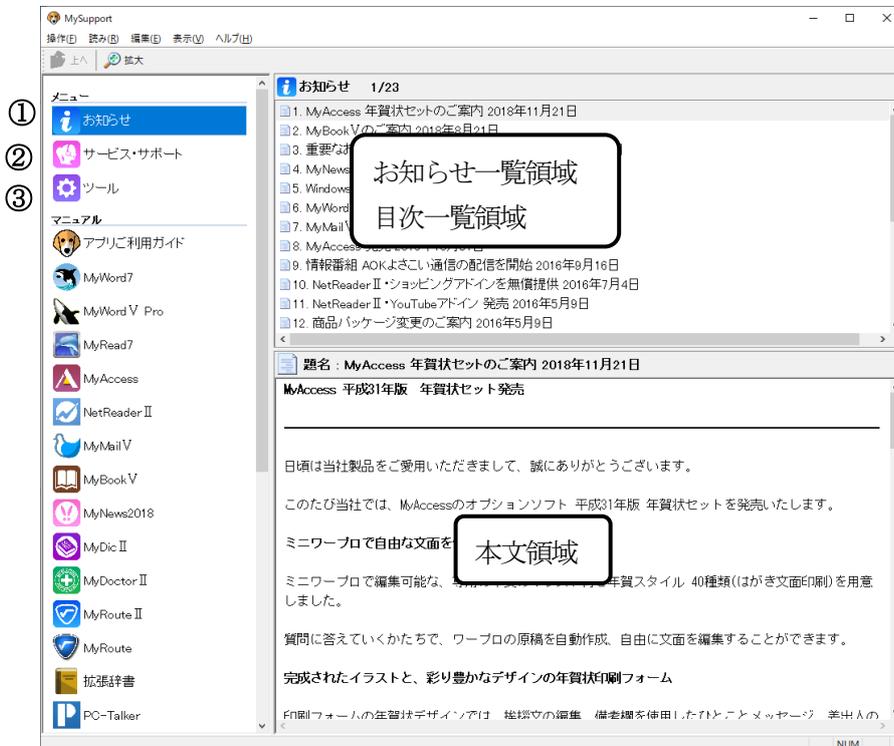
終了

Alt + **F4** で
点字キーは、**③②① ④⑤⑥ め** + **SP** で終了します。

※音声電卓は2019年8月1日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

MySupport

当社からのお知らせ、当社アプリの共通設定、オンラインマニュアルを確認します。



① お知らせ

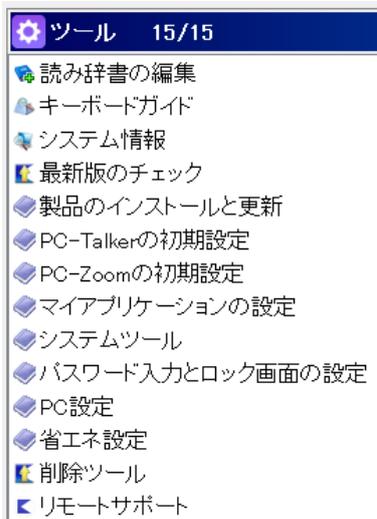
最新のお知らせを確認します。

② サービス・サポート

ユーザーサポート情報、よさこい通信を配信しています。

③ ツール

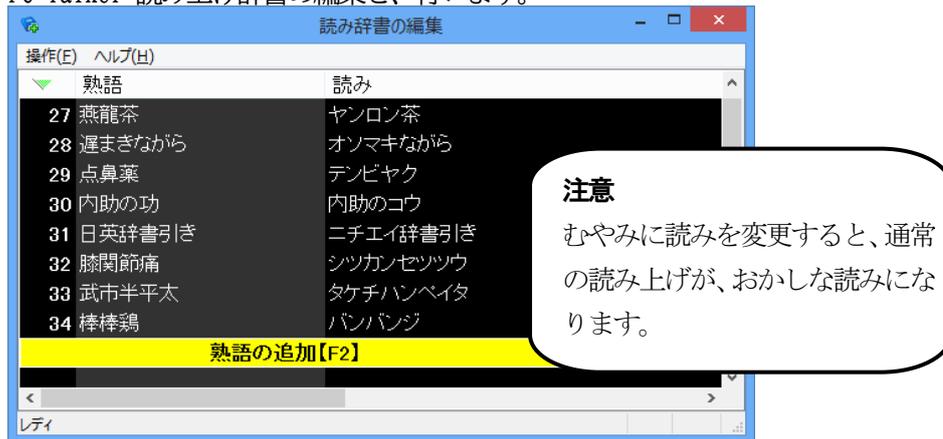
読み辞書の編集などを実行します



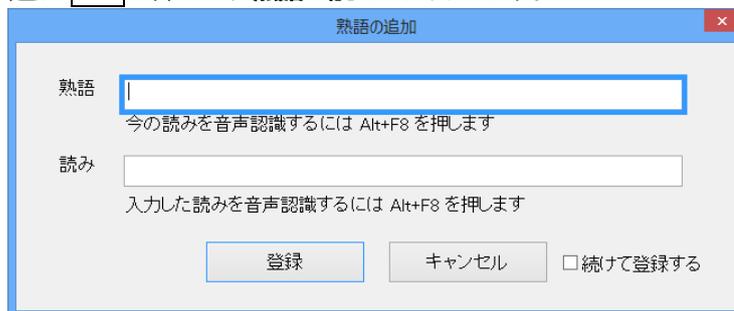
※MySupport は2019年8月1日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

1. 読み辞書の編集 ※1

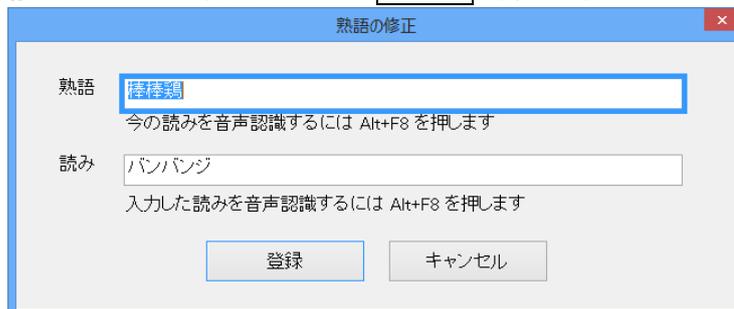
PC-Talker 読み上げ辞書の編集を、行います。



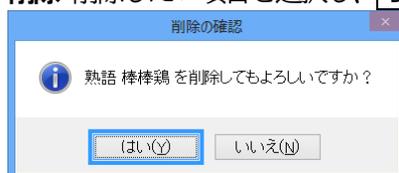
追加 **F2** を押して、**熟語**と**読み**を入力します。



修正 変更したい項目を選択し、**Enter** を押します。



削除 削除したい項目を選択し、**Delete** を押します。



2. キーボードガイド

キーボードの配置を、調べます。

3. システム情報

現在のパソコン情報（CPU、メモリサイズなど）を調べます。

4. 最新版のチェック

当社インストールアプリの、最新版にアップデートできる物がないか、確認します。

※1 読み辞書の編集は2019年8月1日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。
読み辞書の編集は、拡大機能、背景色の変更はできません。

5. 製品のインストールと更新

製品のライセンス情報

お手持ちの製品のライセンス情報を確認出来ます。

Web 版のインストール

購入頂いた製品のインストールが行えます。

製品を最新版に更新

お使いの製品の最新版がないかチェックして、インストールが出来ます。

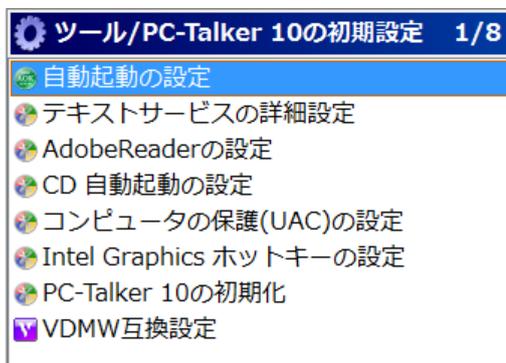
体験版のインストール

弊社購入製品以外のアプリを、30 日間で体験できる物の一覧が表示されます。

※注意：インストール後 30 日間なので、使用しなくても 30 日で、ご使用できなくなります。

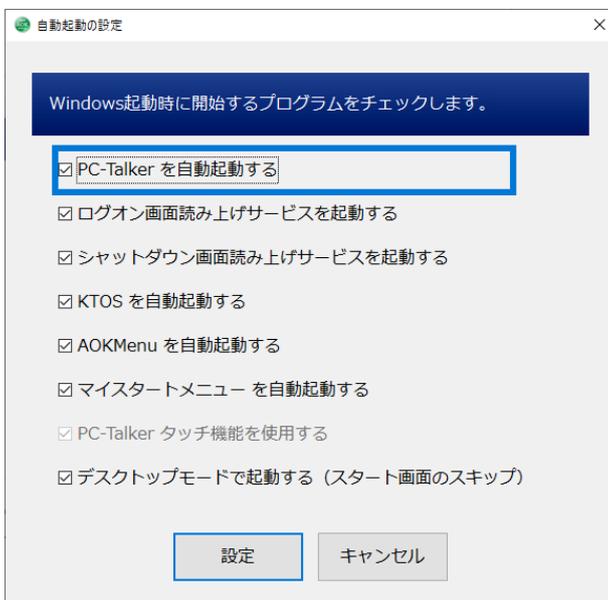
6. PC-Talker の初期設定

PC-Talker の動作環境を設定します。



自動起動の設定

Windows 起動時の動作を設定します。



PC-Talker を自動起動する

PC-Talker を自動起動するか、しないかを設定します。

ログオン画面読み上げサービスを起動する

Windows にログオンする際に使用する画面の読み上げをするか、しないかを設定します。

シャットダウン画面読み上げサービスを起動する

シャットダウン時の Windows Update 等の画面を、読み上げするか、しないかを設定します。

KTOS を自動起動する

点字入力システムを起動するか、しないかを設定します。

AOK メニューを自動起動する

F12 で表示される AOK メニューを、起動するか、しないかを設定します。

マイスタートメニューを自動起動する

デスクトップに、マイスタートボタンを追加し、
キーで、マイスタートメニューを表示します。



PC-Talker タッチ機能を使用する

画面上の場所を意識することなく操作可能な独自のタッチ操作を、起動するかを設定します。

※ PC-Talker 10 画面タッチ機能対応モデル

デスクトップモードで起動する(スタート画面のスキップ)

スタート画面を、スキップして従来のデスクトップ画面を、表示いたします。

テキストサービスの詳細設定

音声認識入力や手書き認識入力といった入力環境を利用するためのサービスです。

初期設定では、この詳細なテキストサービスが有効な状態となっています。

ほとんどのアプリケーションは、テキストサービスの機能を利用していませんので問題ありませんが、アプリケーションによっては、詳細なテキストサービスが有効なときに日本語変換操作を正しく音声ガイドできないことがあります。

その場合、詳細なテキストサービスを無効にすると改善できることがあります。

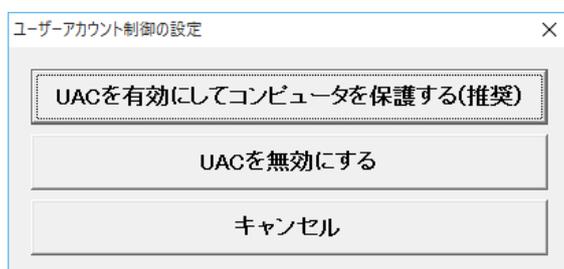
Adobe Reader の設定

Adobe Reader の PDF 文書を適切に読み上げる環境設定を、行います。

CD 自動起動の設定

インストール CD を挿入したときに、プログラムを自動で起動出来るようにする設定です。

コンピュータの保護(UAC)の設定



コンピュータやWindows を、変更するような操作をすると UAC が表示されて処理が中断されます。この操作を、有効 (推奨)、無効にする設定です。

※ 無効にして作業が終われば、必ず有効に戻してください。

Intel Graphics ホットキーの設定

Intel Graphics のホットキー (ショートカットキー) を、無効に設定します。

Ctrl + **Alt** + **F12** を入力すると、Intel Graphics ドライバーの設定画面が開いたり、

Ctrl + **Alt** + **↓** を入力すると、画面表示が回転してしまったり、PC-Talker の機能が実行できないときの対処です。

PC-Talker の初期化

PC-Talker の設定を、出荷時の状態に戻します。

VDMW 互換設定



コマンドのキー配置

コマンド (ショートカットキー) を、PC-Talker のコマンドを利用するか、VDMW のコマンドを利用するかを設定します。

文字の詳細読み辞書

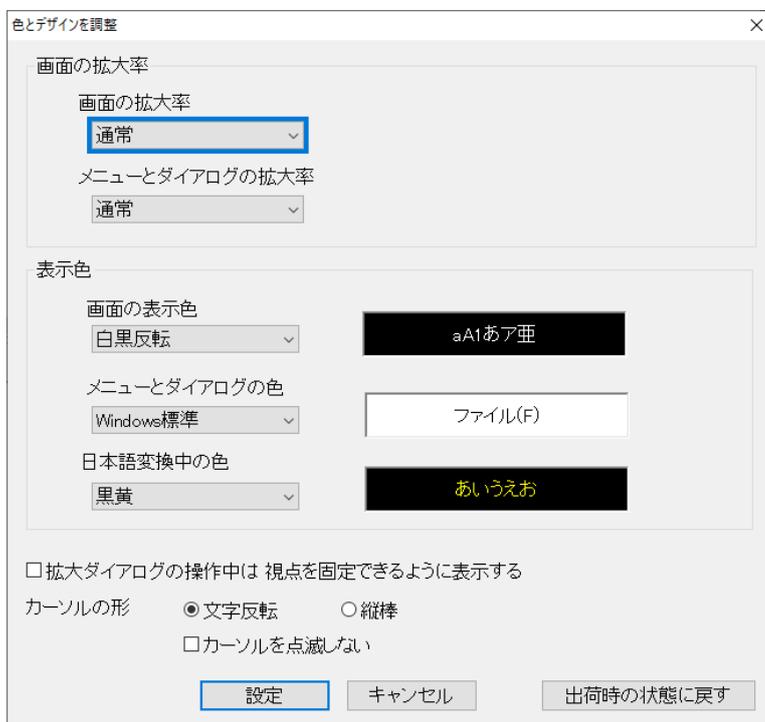
文字の詳細読み辞書を、PC-Talker の辞書を利用するか、VDMW の辞書を利用するかを設定します。

7. マイアプリケーションの設定

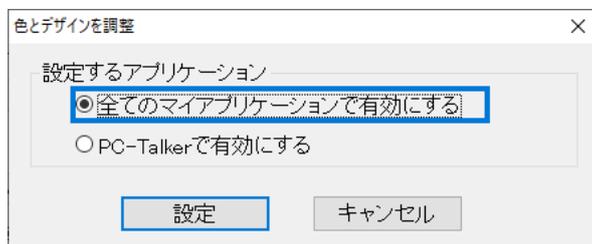
当社アプリの、共通設定を行います。

色とデザイン

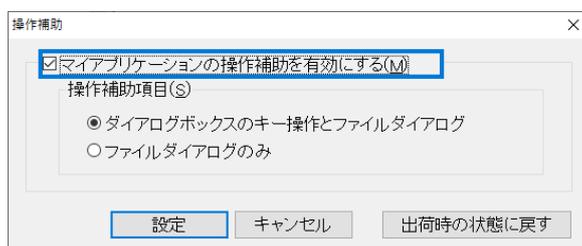
当社アプリ全ての、画面拡大率や、表示色を、共通の設定にします。
または、PC-Talker で有効にするか設定します。



設定で、**Enter**後に、全体で有効にするか、PC-Talker で、有効にするか設定します。



操作補助



マイアプリケーションの操作補助を有効にする
Windows 標準キー操作を行うか、AOK キー操作
を行うかを設定します。

ダイアログボックスのキー操作とファイルダイアログ

ダイアログボックスとファイルダイアログ^{※1}(MYEDIT IIでの「開く」の画面)を AOK キー操作と AOK ファイルダイアログを使う設定します。

ファイルダイアログのみ

キー操作は Windows 標準操作で、AOK ファイルダイアログ^{※1}のみを使う設定にします。

※1 当社製品に共通のダイアログです。キーボードで操作しやすくなっています。

8. システムツール

「ディスク クリーンアップ」「ディスク デフラグ」「回線を切断する」「画面のハイコントラスト表示を切り替える」を、実行します。

ディスク クリーンアップ

一時ファイルやオフラインファイル等を削除して、ディスク容量を増やします。

ディスク デフラグ

ハードディスクをデフラグ（最適化）します。

パソコンを長く使用していると、ハードディスクに記録されたデータが断片化されてしまいます。

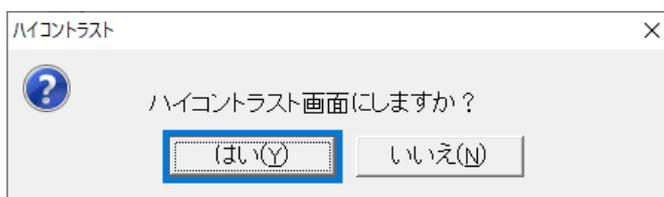
断片化すればするほど、アプリケーションの起動や、データへのアクセス速度が低下します。

回線の切断

アナログ接続の、電話回線接続を切断します。

画面のハイコントラスト表示を切り替える

Windows 画面を通常表示か、ハイコントラスト表示に設定します。



PC-Talker コマンド一覧

PC-Talker のショートカット一覧です。

Windows キーの表記を、Win で表記しています。

フルキーショートカットコマンド

ウインドウ画面をガイドする操作

ウインドウ名読み	Ctrl+Alt+1	Ctrl+Alt+テンキー1
タスク一覧	Ctrl+Alt+2	Ctrl+Alt+テンキー2
タスク数読み	Ctrl+Alt+B	
ステータスバー読み	Ctrl+Alt+3	Ctrl+Alt+テンキー3
メニューバー読み	Ctrl+Alt+4	Ctrl+Alt+テンキー4
タスク名読み	Ctrl+Alt+5	
ツールバー読み	Ctrl+Alt+6	Ctrl+Alt+テンキー6
ウインドウの仮想カーソル操作	Ctrl+Alt+矢印キー	
ウインドウ全文読み	Ctrl+Alt+Z Ctrl+Alt+. (ピリオド)	
音声ログの読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp (過去のログへ) Ctrl+Alt+PageDown (戻る)	
情報読み	Ctrl+Alt+G	
音声をクリップボードへコピー	Ctrl+Alt+S	
再読み	Ctrl+Alt+R	

入力中の操作コマンド (エディットコントロール)

1行読み	Ctrl+Alt+J	Ctrl+Alt+テンキー0
行頭からカーソル手前読み	Ctrl+Alt+H	
カーソルから行末読み	Ctrl+Alt+K	
カーソル位置読み	Ctrl+Alt+F9	Ctrl+Alt+, (コマ)
コード読み	Ctrl+Alt+I	Ctrl+Alt+テンキー7
識別読み	Ctrl+Alt+M	Ctrl+Alt+テンキー5
点文字号読み	Ctrl+Alt+F	
入力キーの読み上げ設定	Ctrl+Alt+¥	
クリップボードの自動読み 切り替え	Ctrl+Alt+X	
クリップボード全文読み	Ctrl+Alt+C	
カーソル位置から全文読み	Ctrl+Alt+F10	Ctrl+Alt+A

その他の音声ガイド

バージョン情報	Ctrl+Alt+9	Ctrl+Alt+テンキー9
キー入力状態	Ctrl+Alt+/(スラッシュ)	
時計読み	Ctrl+Alt+8	Ctrl+Alt+テンキー8
日付読み	Ctrl+Alt+Y	

ガイド音声の設定

カーソル文字の読み方 (設定)	Ctrl+Alt+F8	Ctrl+Alt+V
フォネティック読み (設定)	Ctrl+Alt+T	
日本語変換時の読み方 (設定)	Ctrl+Alt+P	

なめらか読みの設定

上下カーソル行読み (設定)	Ctrl+Alt+F6	Ctrl+Alt+L
数字位取り読み (設定)	Ctrl+Alt+0	
句点括弧読み (設定)	Ctrl+Alt+U	Ctrl+Alt+F5
改行の息継ぎ (設定)	Ctrl+Alt+:(コロン)	
記号読み (設定)	Ctrl+Alt+;(セミコロン)	
英語読み・翻訳読み (設定)	Ctrl+Alt+E	

カーソル文字の読み方設定

カーソル文字の読み方 切り替え	Ctrl+Alt+F8	Ctrl+Alt+V
フォネティック読み 切り替え	Ctrl+Alt+T	
上下カーソル移動時の1行読み	Ctrl+Alt+F6	Ctrl+Alt+L

直前の音声ガイドを再読み

再読み	Ctrl+Alt+R
クリップボードに直前の読み上げをコピー	Ctrl+Alt+S
前の音声ログ ^{※1} を読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp
次の音声ログ ^{※1} を読み上げ	Ctrl+Alt+PageDown

※1: PC-Talker は、過去に出力した音声ガイドを最大20個まで記憶しています。

これを音声ログと呼びます。

画面を OCR 認識して読み上げ

フォーカスのある項目を画面 OCR 読み	Ctrl+Alt+Win+3
アクティブウィンドウ全体を画面 OCR 読み	Ctrl+Alt+Win+4

画面のスクリーンショット

アクティブウィンドウのスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+1
画面全体のスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+2

日本語変換

日本語変換時の読み方（設定）	Ctrl+Alt+P
日本語入力ライン1行読み	Ctrl+Alt+J Ctrl+Alt+テンキー0
注目文節読み上げ（反転表示部分）	Ctrl+Alt+H
注目文節以降の読み上げ	Ctrl+Alt+K
日本語入力ライン1行 校正読み	Ctrl+Alt+Win+J Ctrl+Alt+Win+テンキー0
注目文節 校正読み	Ctrl+Alt+Win+H
注目文節以降 校正読み	Ctrl+Alt+Win+K
国語辞典の語釈読み機能を使用する場合	
国語辞典 語釈読み 先頭一致検索	Ctrl+Alt+H Alt+↓
国語辞典 語釈読み 完全一致検索	Ctrl+Alt+J Alt+↑

IME / ATOK の辞書ウィンドウの読み上げ

仮想カーソルの移動	
上の行へ移動	Ctrl+Alt+↑
下の行へ移動	Ctrl+Alt+↓
上端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
下端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行内の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→

制御コマンド

PC-Talker 7 メニュー表示	Ctrl+Alt+F12
PC-Talker コマンドを1回スルー	Ctrl+Alt+Win+Z
音声の停止/再開	Ctrl+Alt+F2 Ctrl+Alt+N
PC-Talker 7 終了	Ctrl+Alt+F3
PC-Talker 7 再起動	Ctrl+Shift+F3 ※ショートカット
音声スピードを上げる	Ctrl+Alt+F7 Ctrl+Alt+Q
音声スピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+F7 Ctrl+Alt+Win+Q
音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+W
音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+W
音声出力ボリュームを上げる	Ctrl+Alt+^
音声出力ボリュームを下げる	Ctrl+Alt+Win+^
読み上げ音声中断	Shift または Escape
出力先を Windows 既定のデバイスに戻す	Ctrl+Alt+Win+F2
音声の種類を変更する メイン音声	
メイン音声の名前 前を選択	Ctrl+Alt+Win+R
メイン音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+F
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
音声の種類を変更する サブ音声	
サブ音声の名前 前を選択	Ctrl+Alt+Win+E
サブ音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+D
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
デスクトップを開く	Ctrl+Alt+Tab

読書音声に関するコマンド

読書音声のスピードを上げる	Ctrl+Alt+Win+6
読書音声のスピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+Y
読書音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+Win+7
読書音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+U
読書音声の種類 前を選択	Ctrl+Alt+Win+T
読書音声の種類 次を選択	Ctrl+Alt+Win+G
選択した読書音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C

マウス操作

マウスカーソルの読み上げ 切り替え	Ctrl+Alt+_ (アダ -ライン)
マウスカーソル自動移動	Ctrl+Alt+[前のコントロール Ctrl+Alt+] 次のコントロール
マウスボタンクリック	Ctrl+Alt+@ 左ボタン
マウスカーソル十字線の表示 切り替え	Ctrl+Alt+Win+_ (アダ -ライン)

ピンディスプレイ

ピンディスプレイ出力 ON/OFF	Ctrl+Alt+F4
-------------------	-------------

PC-Talker コマンドヘルプ

コマンドヘルプを開く	Ctrl+Alt+Win+F12
コマンドヘルプを閉じる	Escape
上の項目を選択	↑
下の項目を選択	↓
10 件単位で上の項目を選択	PageUp
10 件単位で下の項目を選択	PageDown
上端の項目を選択	Home
下端の項目を選択	End
次のサブメニューへ進む	→
前のメニューへ戻る	←
選択したコマンドの実行	Enter

Web ブラウザーの操作・読み上げ

仮想カーソル位置からページの読み上げ	Shift
ページ先頭から全文読み	Ctrl+Alt+A Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上への項目に移動して読み上げ	Ctrl+↑
仮想カーソルを下への項目に移動して読み上げ	Ctrl+↓
仮想カーソルを右に移動して読み上げ	Ctrl+→
仮想カーソルを左へ移動して読み上げ	Ctrl+←
仮想カーソルを 10 項目 上へ移動して読み上げ	Ctrl+PageUp
仮想カーソルを 10 項目 下へ移動して読み上げ	Ctrl+PageDown
仮想カーソルをページのトップへ移動	Ctrl+Home
仮想カーソルをページのラストへ移動	Ctrl+End
仮想カーソルの項目を、再度読み上げ	Ctrl+Enter
現在の仮想カーソル位置を項目の位置で読み上げ	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
翻訳読み切り替え	Ctrl+Alt+E
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
情報読み・Web コントロールはホームページとガイド	Ctrl+Alt+G
先頭から仮想カーソル項目手前読み	Ctrl+Alt+H
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル項目読み	Ctrl+Alt+J
仮想カーソル項目以降読み	Ctrl+Alt+K
リンクの URL を読み上げて、クリップボードにコピー	Ctrl+Alt+M
再読み・前回の音声再度読み上げ	Ctrl+Alt+R
ページの内容をすべてクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→

仮想カーソルのジャンプ	
次の未読リンクへ移動	U
前の未読リンクへ移動	Shift+U
次の既読リンクへ移動	V
前の既読リンクへ移動	Shift+V
次のリンク項目へ移動	Tab (Web コントロール標準)
前のリンク項目へ移動	Shift+Tab (Web コントロール標準)
次の見出し項目へ移動	H
前の見出し項目へ移動	Shift+H
次の見出し項目の特定レベルへ移動	1 から 6
前の見出し項目の特定レベルへ移動	Shift+1 から Shift+6
次の箇条書き項目へ移動	L
前の箇条書き項目へ移動	Shift+L
次のテーブル要素へ移動	T
前のテーブル要素へ移動	Shift+T
次のフォームコントロールへ移動	F
前のフォームコントロールへ移動	Shift+F
次のエディットボックスへ移動	E
前のエディットボックスへ移動	Shift+E
次のプッシュボタンへ移動	P
前のプッシュボタンへ移動	Shift+P
次のラジオボタンへ移動	R
前のラジオボタンへ移動	Shift+R
次のチェックボックスへ移動	X
前のチェックボックスへ移動	Shift+X
次のコンボボックスへ移動	C
前のコンボボックスへ移動	Shift+C
次のランドマークへ移動	M
前のランドマークへ移動	Shift+M

PDFファイルの読み上げ

前のページへ移動	←
次のページへ移動	→
最初のページへ移動	Home
最後のページへ移動	End
スクロールアップ	↑
スクロールダウン	↓
前の画面へ移動	PageUp
次の画面へ移動	PageDown
スクロール読み	上下矢印キー
仮想カーソル位置からページ読み	Shift
ページ先頭からページ読み	Ctrl+Alt+A Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上項目へ移動	Ctrl+↑
仮想カーソルを下項目へ移動	Ctrl+↓
仮想カーソルをページの先頭項目へ移動	Ctrl+Home
仮想カーソルをページの最終項目へ移動	Ctrl+End
仮想カーソル上の項目内の文字	
左の文字へ移動	Ctrl+←
右の文字へ移動	Ctrl+→
ページ番号読み	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソルによる範囲選択	
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→
仮想カーソル上の項目を再読み	Ctrl+Alt+R
ページの内容をクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S

コマンドプロンプトの読み上げコマンド

仮想カーソルの移動	
仮想カーソルを上への行へ移動	Ctrl+Alt+↑
仮想カーソルを下への行へ移動	Ctrl+Alt+↓
仮想カーソルを前のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
仮想カーソルを次のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→
仮想カーソル位置の読み上げ	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル位置の文字を点文字読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソル上の行を再読み	Ctrl+Alt+R

Windows ヘルプ (CHM 形式) の画面読み上げ

ヘルプ本文ウィンドウへフォーカス移動	Ctrl+Alt+Win+@
--------------------	----------------

テンキーコマンド

テンキーモードへの切替

テンキーモード・次に切り換え	Ctrl+Alt+Home
テンキーモード・戻る	Ctrl+Alt+End

クリップボード操作 (テンキーコマンド1)

	[8] クリップボードカーソル ↑上移動	[9] クリップボード自動読み
[4] クリップボードカーソル ←左移動	[5] クリップボードカーソル 文字識別読み	[6] クリップボードカーソル 右移動→
[1]	[2] クリップボードカーソル 下移動↓	[3]
[0] クリップボード1行読み		[.] クリップボード全文読み

Ctrl +

[7]	[8] クリップボードカーソル ↑上はし	[9]
[4] クリップボードカーソル ←左はし	[5]	[6] クリップボードカーソル 右はし→
[1]	[2] クリップボードカーソル 下はし↓	[3]
[0]		[.]

マウス操作（テンキーコマンド2）

[7] 左ボタンクリック	[8] ↑マウス上移動	[9] 右ボタンクリック
[4] ←マウス左移動	[5]	[6] マウス右移動→
[1] ウインドサイズ切替	[2] マウス下移動↓	[3]
[0] 次のコントロールへ移動	[.] マウス位置読み上げ (全画面中)	

Alt +

[7] 中央ボタンクリック	[8] ↑マウス高速上移動	[9] マウスホイール上
[4] ←マウス高速左移動	[5]	[6] マウス高速右移動→
[1]	[2] マウス高速下移動↓	[3] マウスホイール下
[0] 前のコントロールへ移動 ※または直前のコントロールに移動	[.] マウス位置読み上げ (ウインドウ内)	

Ctrl +

[7] 左上ブロックに移動	[8] 上ブロックに移動	[9] 右上ブロックに移動
[4] 左ブロックに移動	[5] 中央ブロックに移動	[6] 右ブロックに移動
[1] 左下ブロックに移動	[2] 下ブロックに移動	[3] 右下ブロックに移動
[0]	[.] マウス位置読み上げ (ブロック単位)	

補足説明（点字キー操作） ※KTOS

PC-Talker のメニュー

③②① ○○○+SP

点字周辺キー

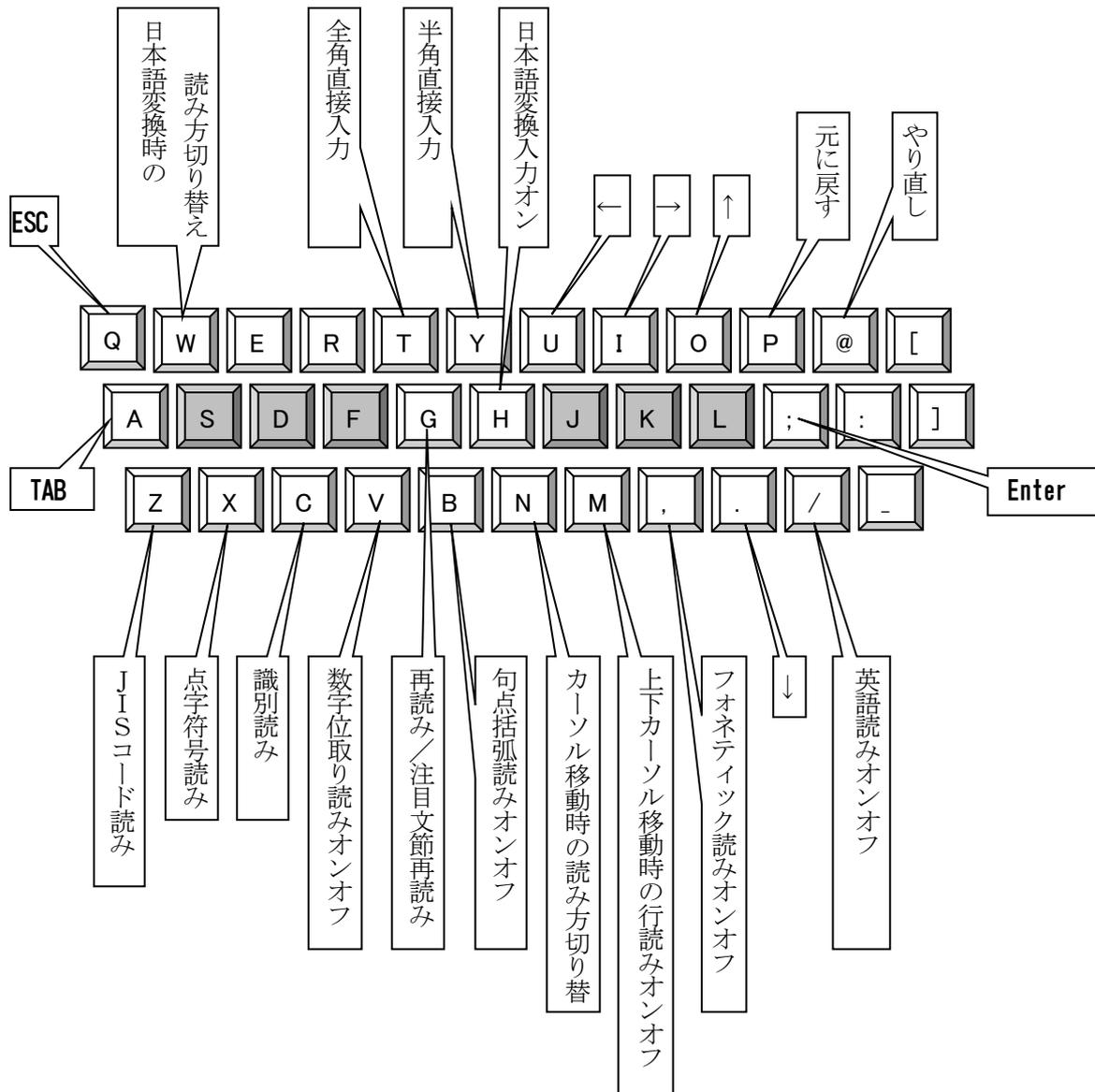
コマンド	F Jポジション	
JISコード読み	3の点の左下	Zっ
点文字号読み	2の点の左下	Xき
識別読み	1の点の左下	Cそ
数字位取り読み(設定)	1の点の右下	Vひ
句点括弧読み(設定)	1の点の右下右	Bこ
カーソル移動時の読み方(設定)	4の点の左下	Nみ
上下カーソル移動時の行読み(設定)	4の点の右下	Mも
フォネティック読み(設定)	5の点の右下	、る
英語読み・翻訳読み(設定)	6の点の右下右	ゝる
再読み	1の点の右	Gき
日本語変換時の読み方(設定)	3の点の上	Wて
全角直接入力に切り替え	1の点の右上	Tか
半角直接入力に切り替え	1の点の右上右	Yん
日本語変換入力に切り替え	4の点の左	Hら
元に戻す	6の点の右上	Pせ
やり直し	6の点の右上右	@

点字キーで代替入力可能なキー

(※詳しくはKTOSオンラインマニュアルをご覧ください。)

Enter	○○ 1 ○○○ +SP 6の点の右
Back Space	○○○ 4 ○○ +SP
Delete	○○○ ○ 5 ○ +SP
Escape	○○○ ○○ 6 +SP
Insert	○ 2 1 ○○○ い +SP
Tab	3の点の左
Shift+Tab	Shift + 3の点の左
↑(上矢印キー)	○ 2 ○ ○ 5 ○ +SP 6の点の上
↓(下上矢印キー)	3 ○○ ○○ 6 +SP 6の点の右下
←(左矢印キー)	4の点の上
→(右矢印キー)	○ 2 ○ ○○○ +SP 5の点の上
Home	○ 2 1 4 5 6 せ +無変換
End	○○ 1 ○ 5 ○ ら +無変換
Page Down	3 2 1 4 ○○ ね +SP
Page Up	3 ○ 1 ○○ 6 は +SP
Alt	○○○ ○○ 6 +無変換
Alt+F4	3 2 1 4 5 6 め +SP
日本語 ON	4の点の左

点字周辺キー



付 録

Windows 10 のショートカット一覧です。

機 能	 +
アクションセンターを表示する	A
通知領域にフォーカスを設定する	B
チャームを開く	C
デスクトップを表示	D
Windows エクスプローラーを開く	E
検索チャームの「ファイル」に移動 (+Ctrl で、ネットワーク上のコンピュータを検索)	F
デスクトップ ガジェットを順番に切り替え	G
共有チャーム	H
設定チャーム	I
スナップされたアプリと大きなアプリ間でフォーカスを切り替え	J
デバイスチャーム	K
パソコンの画面をロック	L
全てのウインドを最小化 (デスクトップ)	M
画面の向きをロック	O
プロジェクションオプション	P
検索チャーム	Q
ファイル名を指定して実行	R
検索画面を表示する	S
タスクバーにフォーカスを設定し、実行中のデスクトップアプリを順番に切り替え	T
コンピュータの簡単操作センター	U
クリップボード履歴	V
検索チャームの「設定」に移動	W
Power Users コマンドのクイックリンク	X
アプリを開く	Z
タスクバー上の特定位置のアプリに移動	1-9
拡大 (拡大鏡)	+
縮小 (拡大鏡)	-
デスクトップのプレビュー	, (コンマ)
Metro アプリを右にスナップ (+Shift で左にスナップ)	. (ピリオド)
ナレーターを起動 (+Alt で Windows Media Center を開く)	Enter
入力言語とキーボードレイアウトを切り替え	Space
Metro アプリの履歴を順番に切り替え	Tab
拡大鏡を終了	Esc
非アクティブなデスクトップウインドウを最小化	Home

機 能	 +
スタート画面を左のモニタに移動	Page UP
スタート画面を右のモニタに移動	Page Dows
システムのプロパティ	Break
デスクトップウィンドウを左にスナップ (+Shift でウィンドウを左のモニタに移動)	←
デスクトップウィンドウを右にスナップ (+Shift でウィンドウを右のモニタに移動)	→
デスクトップウィンドウを最大化 (+Shift で幅を維持)	↑
デスクトップウィンドウを元に戻す/最小化 (+Shift で幅を維持)	↓
コンピュータの基本的な情報の表示	Pause
Windows ヘルプとサポート	F1
デスクトップのスクリーンショットを取得してスクリーンショットフォルダに保存	PrintScreen

機 能	 + Shift +
最小化されたウィンドウをデスクトップに復元する	M
デスクトップを開き、タスクバー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリの新しいインスタンスを開始する	1-9
マルチモニター環境でアクティブウィンドウを左モニターに表示する	→
マルチモニター環境でアクティブウィンドウを右モニターに表示する	←
横幅を保持してアクティブウィンドウを最大化する	↑
横幅を保持してアクティブウィンドウを通常に戻すまたは最小化する	↓
フィードバックアプリを起動する	?

機 能	 + Ctrl +
デスクトップを開き、タスクバー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリの前の作業中のウィンドウに切り替える	1-9
以前に選択されていた入力方式に変更する	Space
仮想デスクトップを切り替える	→
仮想デスクトップを切り替える	←
仮想デスクトップを作成する	D
仮想デスクトップを削除する	F4
PC を検索する (ネットワークに参加している場合)	F

Screen Reader PC-Talk er

PC-Talk er の開発にあたっては、たくさんの方にご意見とご協力いただきました。
ここに厚くお礼を申し上げます。

- ・ 六点漢字は長谷川貞夫先生が考案された六点方式です。
- ・ 漢点字は、川上泰一先生が考案された八点方式です。
- ・ PC-Talk erNeo Plus、PC-Talk erNeo は、株式会社 高知システム開発の、商標または登録商標です。
Windows は、マイクロソフト社の、商標または登録商標です。
- ・ PC-Talk erNeo Plus、PC-Talk erNeo は、(株) 高知システム開発の著作物であり、これにかかる著作権などの権利は、(株) 高知システム開発に帰属します。
- ・ マニュアルの一部または全部を無断で複製・複製することは固く禁じます。
- ・ マニュアルの内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ キーボードの種類によっては、点字入力ができない場合があります。

- ・ その他の記載されている製品名は、弊社または各社の、商標または登録商標です。

Screen Reader PC-Talk er

発行所 株式会社 高知システム開発

〒780-0048

高知県高知市吉田町2番23号

TEL (088)873-6500 FAX (088)873-6599

<http://www.aok-net.com/>

2019年8月1日 第1版 第1刷発行

PC-Talker をセットアップ前に、ご確認ください。

セットアップ前に必ずご確認ください。

以下の条件を満たしていないと、PC-Talker の機能を十分に使うことができません。

動作環境

ハード

CPU Pentium4 2GHz以上
(推奨 インテル® Core™ i3 プロセッサー以上)

ハードディスク 空き容量 32GB以上 (PC-Talker のみ)
(推奨 64GB以上)

メモリ 2GB以上のシステムメモリ (推奨 3GB以上)
Windows 64Bit 版は、4GB以上 (推奨 8GB以上)

DVDドライブ DVD 版インストール時に必要

WAVE 出力可能なサウンド機能 (Direct Sound 対応サウンドカード/内蔵サウンド機能搭載パソコン)

ソフト

PC-TalkerNeo Plus Windows 10 32bit/64bit

※ Windows95、Windows98、Windows98Se、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、
Windows Vista、Windows 8 32bit/64bit
Windows 10 1809 以前 には、対応していません。

Internet Explorer Internet Explorer 11 以上

Acrobat Reader Adobe Reader DC 以上

Google Chrome 72.0.3626.121 以上

Mozilla Firefox 65.0.2 以上

この仕様は、2019年8月1日現在のものです。技術改善等により、予告なしに変更する場合があります。

※PC-TalkerNeo Plus、PC-TalkerNeo は、(株) 高知システム開発の商標です。

※Windows、Word、Excel、Internet Explorer は米国マイクロソフト社の登録商標です。

※Pentium、Core 2 Duo は、Intel Corporation の登録商標です。

※エクストラは、有限会社エクストラの製品です。

※IBUKI-TEN は、岐阜大学工学部応用情報学科池田研究室で開発された、自動点字翻訳システムです。

※Adobe Reader DC は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。